

「旅」上質主義 ワールド航空サービスの旅づくり



これまでも、これからも、いつまでも。
生涯の心に残る楽しい感動的な旅を。

旅に心の潤いを求めるお客様へ。私たちは1971年の創業以来、お客様の満足を最優先に考え、常に新たな挑戦を続けてきました。これが私たちの歩んできた道であり、これからも変わることはありません。お客様の期待に応えるために、私たちは多様なサービスと独自の旅づくりを続けて参りました。安心で楽しく、そして満足度の高い旅を提供するために、私たちが大切にしている理念と取り組みをホームページや印刷物でご紹介しています。私たちの旅づくりは、これまでも、これからも、いつまでも、お客様の心に寄り添い続けます。

「ワールド航空サービスの旅づくり」は印刷物でもご用意しています。ツアーもパンフレットとともにご請求ください。なおホームページからもご覧いただけます。私どもの「こだわり」をぜひご覧ください。



ワールド航空サービスの「サステイナブルな旅づくり」にご協力ください

これまで海外旅行にご参加いただいたお客様に、資料発送時にお送りしていましたA4サイズのプラスチック製ファイルや、スーツケースのタグを環境配慮への取り組みとして、これまでのプラスチック製から素材を見直しました。環境負荷を低減する植物由来樹脂を一部配合したフィルムを使用。破れにくく、水をはじく素材です。印刷はベジタブルインクを使用。小型化し、2つ折りでのしおり等の持ち運びにもぴったりのサイズにしました。



様々なサステイナブルな旅づくりへの取り組みを行っています
詳しい内容は
ホームページをご覧ください。



●この画面は、旅行業法第12条の4による取引条件説明書及び旅行契約が締結された場合は同法第12条の5により交付する契約書の一部となります。お申込に際しては別途交付する旅行条件書(全文)をご確認の上、お申込みください。

ご旅行のご案内とご注意・条件(抜粋)

●旅行契約の成立
旅行契約は、当社が旅行契約の締結を承諾し、申込金を受理した時に成立します。

●旅行代金のお支払い
旅行代金は、旅行開始日の前日から起算してさかのぼって21日目に当たる日より前にお支払いいただきます。

●お支払い対象旅行代金
「お支払い対象旅行代金」とは、「旅行代金として表示した金額」と「追加代金として表示した金額」の合計額をいいます。

●旅行代金に含まれるもの

- パンフレット等、当社ホームページの旅行日程に明示した次に掲げるものが含まれます。
 - 運送機関の運賃・料金(パンフレット等に特に別途の記載がない限り、航空機の場合はエコノミークラス、鉄道は普通車を利用します。)
 - 送迎バス料金、都市間の移動に係るバス料金、観光に伴うバス料金
 - 宿泊機関の宿泊料金及び税・サービス料金(パンフレット等に特に別途の記載がない限り1部屋に2名で宿泊した場合を基準にします。)
 - 食事の料金(機内食は除く。)及び税・サービス料金
 - 添乗員等(企画旅行に同行して旅程管理業務を行う者等)が同行するコースにおける添乗員等の旅行費用
 - 観光に伴うガイド料金、観光施設の入場料等
 - 航空会社等が定める個数・重量の無料手荷物許容量の範囲内の受託手荷物運送料金
 - 団体行動時の必要な心付け
 - 旅行日程中の海外の空港税、同通税、同空港利用料
 - その他(パンフレット等において、旅行代金に含まれる旨を表示したものを除く。)
- 前(1)に記載したものは、お客様の都合により一部利用されなくても払戻しの対象外となります。

●旅行代金に含まれないもの
上記以外は旅行代金に含まれません。その一部を例示します。

- 超過手荷物料金(特定の重量・容量・個数を超える分について)
- 個人的性質の諸費用及びそれに伴う税・サービス料金
- 渡航手続関係諸費用(旅券印紙代・査証料・予防接種料金・渡航手続代行料金)
- お1人部屋を使用される場合の11室1名利用追加代金
- 日本国内の空港施設使用料、国際観光旅客税
- 港湾利用料、政府関連諸税等
- 燃油サーチャージ(旅行契約成立後に増額された場合は、増額の差額は徴収し、また、減額・廃止された場合は、減額分は、払戻しをいたします。)

●お部屋について

- 部屋割りは、原則としてホテル又は船会社が予め定めております。また、ホテルや船室では部屋により調度品や広さが異なる場合があります。当社ではバスタブ付き客室をご用意するよう努めておりますが、各地域の特性や施設の事情によりシャワーのみとなる場合があります。

(2) 可能な限り2人用の客室にはシングルベッドが2台の「ツインベッドルーム」をご用意いたしますが、ホテルによっては、「ダブルベッドルーム」に2台目のベッドとして簡易ベッドを入れてご利用いただく場合もございます。また、ご夫婦でご参加の際は、「1ベッドタイプ」で大型ベッド1台のみのご利用となる場合があります。(なお、「ツインベッドルーム」には2つのベッドマットが1つの枠の中に入っている「ジャーマンツイン」の客室、2つのベッドのサイズや種類が若干異なる客室も含まれます。)

※ホテルの★の数の記載に関して
弊社では、これまで各国の正式な評価基準に基づき、利用ホテルの★の数を記載してまいりました。しかしながら、昨今は欧米の大手ホテルチェーンであっても未登録のホテルが増え続けていること、★の数が必ずしもホテルの品質を担保するものではない現状を鑑み、ホテルの★の掲載を取り止めております。なお、これまで通りツアー内容やコンセプトに合わせて可能な限り快適なホテル選定を心がけております。

●クルーズ旅行における寄港地上陸観光
船のスケジュール及び上陸観光地は乗客の安全を最優先と考え、天候やその他現地事情により、船長の判断によって予告なしに変更されることがあり、その権限は船長が持っています。また、その変更による払戻しはございません。

●航空機について
座席配列により、グループ・カップルの方でも隣り合わせにならない場合があります。なお、窓側・通路側のご希望は、すべてのご希望をかなえることは不可能ですので、ご容赦ください。

●時間帯の目安について
当社は、原則として時刻を記載した日程表を交付しておりますが、地域により時刻を記載できない一部の日程表については、下記の時間帯で表記します。

04:00	08:00	12:00	16:00	18:00	22:00
朝	午前	午後	夕刻	夜	深夜

●日程表中のマークについて

- 観光について：●=入場観光 ○=下車観光 ㊦=ユネスコ世界遺産
- お食事：■=朝食(原則としてホテルでの朝食をご用意しておりますが、ツアー行程の関係で簡素なボックスブレイクファースト等となる場合がございます) ■=昼食 □=夕食(軽めのお食事がらしゃかりとしたコース料理、ピュッフェ、或いは郷土料理など、地域や訪問国の食事の特色、ならびに旅程に応じて用意しております。また、ツアー行程の関係で簡素なボックスタイプ等のお食事となる場合がございます) ■=機内食 □=食事なし
- 乗り物：➡=航空機 ≡=バス ≡≡=列車 ≡≡≡=自動車 ≡≡≡≡=船 ≡≡≡≡≡=ロープウェイ

●本パンフレットの掲載写真と地図について
パンフレットには、よりお客様に訪問地のイメージを掴んでいただけたらよいよう、ツアーに即した写真を掲載するように努めておりますが、必ずしも同じ角度や高度でのご覧いただけるという保証ではございません。また、掲載しております地図は、およびその位置関係と宿泊地、訪問地を示し、イメージを掴んでいただくためのものです。

●旅行契約の解除・払戻しについて
旅行契約が成立した後(以下)の区分により定められた取消料をお支払いいただくことにより、お客様は旅行契約を解除することができます。

旅行契約の区分	適用する取消料
日本出国時又は帰国時に航空機を利用する募集型企画旅行契約並びに海外を出发地及び到着地とする募集型企画旅行契約(貸切り航空機を利用するコースを除きます。)	<表1>
日本出国時又は帰国時に貸切り航空機を利用する募集型企画旅行契約	当該パンフレット等に別途明示する取消料によります。
旅程中に3泊以上のクルーズ行程を含む旅行でパンフレット等に別途明示があるもの	当該パンフレット等に別途明示する取消料によります。
日本発着時共に船舶を利用する募集型企画旅行契約	当該船舶に係る取消料の規定によります。

<表1> 日本発着時又は帰国時に航空機を利用する募集型企画旅行契約並びに海外を出发地及び到着地とする募集型企画旅行契約

旅行契約の解除期日	取消料
旅行開始日がピーク時の旅行である場合であって、旅行開始日の前日から起算してさかのぼって40日目に当たる日以降31日目に当たる日までで解除するとき	¥30,000 お支払い対象旅行代金が30万円未満のときは10%
旅行開始日の前日から起算してさかのぼって30日目に当たる日以降21日目に当たる日までで解除するとき	¥50,000 お支払い対象旅行代金が25万円未満のときは20%
旅行開始日の前日から起算してさかのぼって20日目に当たる日以降3日目に当たる日までで解除するとき	お支払い対象旅行代金の20%
旅行開始日の前々日に当たる日から当日(旅行開始前)までに解除するとき	お支払い対象旅行代金の50%
旅行開始後に解除するとき又は無連絡不参加のとき	お支払い対象旅行代金の100%

(注1) 旅行契約解除の申出は、当社の営業日の営業時間内をお願いします。当社の営業日の営業時間、連絡先(電話番号等)及び連絡方法は、お客様自身でも申込時に必ずご確認ください。
(注2) 「ピーク時」とは、12月20日から1月7日まで、4月27日から5月6日まで及び7月20日から8月31日までをいいます。
(注3) <表1>の「お支払い対象旅行代金」とは募集型企画旅行又はパンフレット等に「旅行代金として表示した金額」と「追加代金として表示した金額」の合計額をいいます。

●旅行条件・旅行代金の基準
ご旅行条件につきましては、このパンフレットに記載しました契約内容・条件の他、旅行条件書(全文)、確定書面(最終旅行日程表)及び当社の旅行業務約款によります。ご旅行条件は、2025年6月1日現在の運賃・料金を基準としております。

旅行企画・実施 **ワールド航空サービス**

- 東京支店 TEL: 03-3501-4111
東京都千代田区有楽町1-5-1 日比谷マリンビル 4階 〒100-0006 総合旅行業務取扱管理者 松崎 浩
- 大阪支店 TEL: 06-6343-0111
大阪市北区梅田1-1-3 大阪駅前第3ビル29階 〒530-0001 総合旅行業務取扱管理者 柴尾 祐樹
- 名古屋支店 TEL: 052-252-2110
名古屋市中区栄3-14-7 RICO栄8階 〒460-0008 総合旅行業務取扱管理者 柴崎 範明

WEBもどうぞ **ワールド航空** 検索 <https://www.wastours.jp>

- 九州支店 TEL: 092-473-0111
福岡市博多区博多駅東2-5-28 博多信成ビル2階 〒812-0013 総合旅行業務取扱管理者 木村 咲子
- 札幌支店 TEL: 011-232-9111
札幌市中央区北1条西2-1 時計台ビル 5階 〒060-0001 総合旅行業務取扱管理者 真島 智
- 湘南支店 TEL: 0466-27-0111
神奈川県藤沢市藤沢484-1 藤沢アンバービル 3階 〒251-0052 総合旅行業務取扱管理者 近 博之

※総合旅行業務取扱管理者とは、お客様の旅行を取り扱う営業所での取引に関する責任者です。この旅行に関し、担当者からの説明にご不明な点があれば、ご連絡なく上記の旅行業務取扱管理者におたずねください。(株)ワールド航空サービス観光局長登録旅行業201号

心に残る高品質な旅 WORLD インド東西南北 東京発 2025 11月 ▶ 2026 3月出発

- 【北インド】観光寝台列車デカン・オデッセイ号でゆく 聖地ベナレスと北インド周遊の旅
- 【北インド】ムガールの絢爛とマハラジャの栄華
- 【中部インド】仏教芸術屈指の世界遺産 アジャンタ、エローラとサーンチーの旅
- 【南インド】インド最大の遺跡ハンピと黄金のゴア
- 【西インド】注目の西南インド グジャラートの旅
- 【北インド】8大仏跡をめぐる 大シルクロード紀行 天竺編
- 【東インド】東インド コルカタとオリッサ紀行
- 【東インド】世界遺産カジランガ国立公園とブラマプトラ川の船旅



歴史をほどき、風土を紐解く。
知と感性が交差する、
八つのインドへの旅路。

世界遺産タージ・マハル(イメージ)

何度訪ねても新たな発見がある 不思議の国インド

インドの国土面積は、約328万平方メートル(世界7位)と日本の約9倍。

ヒマラヤ山脈周辺は寒冷気候、西北部は砂漠気候を含む乾燥気候、中部・東部は温帯気候、そして南部は熱帯気候と、気候風土の違いが多様な文化を育んできました。各地の特色にクローズアップしてご紹介します。



北インド

初めてのインドなら、まずはここから

「インドの名所」と言ってもまず思い浮かぶのは「タージ・マハル」でしょう。首都デリー、古都アグラ、マハラジャの暮らすジャイプールが形成する「ゴールデン・トライアングル」は、北インド観光の白眉。インド伝統とイスラム、さらにはヨーロッパスタイルが融合した名建築が各所で見られます。弊社では連泊を中心に、各地を丹念に巡る行程としています。今年のラインナップには、好評の「大シルクロード紀行」のインド編として、仏陀の足跡をたどる新コースや、観光寝台列車「デカン・オデッセイ号」で巡る北インドの鉄道旅もご用意しました。

【北インドを訪ねる旅】

- ・観光寝台列車デカン・オデッセイ号でゆく 聖地ベナレスと北インド周遊の旅 (3ページ)
- ・ムガールの絢爛とマハラジャの栄華 (5ページ)
- ・8大仏跡をめぐる 大シルクロード紀行 天竺編 (13ページ)



中部インド

古代仏教の源流、仏教美術を堪能 世界遺産アジャンタ

地図を俯瞰したときに存在感を放つ「デカン高原」。亜大陸の中部から南部にまたがる逆三角形の巨大な岩盤には紀元前から各地で、途方もない歳月をかけて数多くの石窟寺院が造られてきました。インドに現存する石窟寺院は1000を超えますが、中でも仏教美術という点において最高峰といえるのが「アジャンタ」です。硬質の玄武岩でできた寺院は長い歳月の中朽ちることなく、また鮮やかな壁画も多くが現存。ヒンドゥー教、ムガール帝国だけでなく、仏教の源流に出会える場所です。

【中部インドを訪ねる旅】

- ・仏教芸術屈指の世界遺産 アジャンタ、エローラとサーンチーの旅 (7ページ)



東インド

多彩な民族と、インドの原風景に出会う場所

東インドは、かつて英領期の首都が置かれたコルカタ(旧カルカッタ)を中心とした、ネパール、ブータン、バングラデシュ、ミャンマーとの国境を接する、民族色豊かな地域です。インド東北7州のひとつ、アッサムを訪ねる旅が新登場。ゆるやかな渓谷を滔々と流れるブラマプトラ川をゆくクルーズ船にて、川岸の素朴な村々を訪問。観光化されていないこの地域では、「素顔のインド」、「インドの原風景」に出会えます。一方、ベンガル湾に面するオリッサ州も少数民族が多く暮らす地域。どこか日本のなつかしさも感じられる、北とも南とも違う民族色にあふれた場所です。

【東インドを訪ねる旅】

- ・東インド コルカタとオリッサ紀行 (15ページ)
- ・世界遺産カジランガ国立公園とブラマプトラ川の船旅 (17ページ)



西インド

インダス文明都城址、驚きの階段井戸と色鮮やかなテキスタイル

インド独立の父マハートマ・ガンディーや、現首相モディを輩出した、西部のグジャラート。砂漠性気候のこの地域には、古代文明のひとつインダス文明期の貴重な都城址が見つかっています。インド黎明期の貴重な歴史遺産、中世期の巨大な井戸建築など、歴史的な側面だけでなく、グジャラートがさらに面白いのは現在も活き活きとした少数民族の色鮮やかな刺繍文化です。魅惑のグジャラート、インド再訪の方におすすめです。

【西インドを訪ねる旅】

- ・注目の西南インド グジャラートの旅 (11ページ)



南インド

中世ヒンドゥー教王朝の白眉ハンピを訪ねて

同じ「インド」でも、北と南でこんなにも違うものか。北インドから見ると、別の国と思えるほど、民族、言語、歴史文化がすべて異なるのが、南インドです。一口に「南インド」といってもとても広大で、このたびは弊社でこれまででもご案内してきた南インド周遊コースでもご案内できなかった、カルナータカとゴアを訪ねます。カルナータカはハンピに代表されるような、中世ヒンドゥー王朝の都市、寺院遺跡にあふれ、そのダイナミックな建築に圧倒されます。一方、ポルトガル風情を感じるゴアも訪問し、これまでと異なる雰囲気「南インド」を皆様にご提案いたします。

【南インドを訪ねる旅】

- ・インド最大の遺跡ハンピと黄金のゴア (9ページ)

8つの世界遺産に加え、知られざる見どころも訪問 観光寝台列車デカン・オデッセイ号でゆく 聖地ベナレスと北インド周遊の旅 11日間



スタッフ・パトラーのホスピタリティも人気 (イメージ)



各客室にシャワー・トイレが付いた優雅なつくり(イメージ)



ラウンジで優雅なひとときをお過ごしください



レストランでは洋食・インド料理のコースを堪能(イメージ)



車内のバーでくつろぎの時間も



シェフが工夫を凝らしたお食事を車内に(イメージ)



※都市間を列車で移動できることがデカン・オデッセイの旅の利点ですが、夜間走行の際は揺れる場合がございます。

北インドを代表する8つの世界遺産と、 このツアーならではの訪問地

北インドにある世界遺産で、すぐに連想されるのはアグラのタージ・マハル、アンベール城などマハラジャの宮殿の多いジャイプール、そして、首都デリーのクトゥブ・ミナール等々でしょう。これら北インドのゴールデントライアングルにある主要な見どころとともに、このツアーでは、聖なる大河ガンジスが流れる聖地ベナレス、あまり訪れることのないベンガル・タイガーの保護区や官能的なレリーフで知られる世界遺産カジュラホの寺院群、さらには世界遺産暫定リストに入っているデカン高原中央部のオルチャなども訪問。観光寝台列車を利用したツアーならではの無駄のない行程で、8つの世界遺産と見逃せない訪問地を網羅します。

かつてのマハラジャの狩猟地「ランタンボール国立公園」

元々はジャイプールのマハラジャの狩猟地で、見るのが難しいとされるベンガル・タイガーの保護区としても知られます(他にも様々な動物が生息していますが、ベンガル・タイガーをはじめ、動物は必ずしもご覧いただけるとは限りません)。



絶滅危惧種のベンガル・タイガー保護区(イメージ)

精巧で芸術性豊かな石彫 世界遺産「カジュラホ遺跡」

10～12世紀のチャンデラ王朝の都カジュラホ。性愛や宗教的なテーマを描いた精巧で芸術的価値の高い彫刻が施された、歴代の王たちの寺院群が見事です。最盛期には80以上もの寺院があったといわれ、現在でも20余りが残されています。



官能的な彫刻群、カジュラホのヒンドゥー寺院

独特の建築様式が美しい町「オルチャ」

オルチャは、ヒンドゥーの高カースト集団であるラージプート族のバンデラ王朝が、16世紀から英国が侵入するまで都を置いた地です。イスラムのムガル王朝と友好関係を結び、ヒンドゥーとイスラム双方の建築様式を兼ね備えた美しい町です。



独特の美しい歴史的建築物が林立するオルチャ

「モダン・インド料理」の名店で愉しむお食事

最終日の昼食は、名店「インディアン・アクセント」にてご用意しました。世界的な旅行雑誌でNO.1のインド料理レストランに選ばれるなど、高い評価を得ています。斬新な創作インド料理をお楽しみください。

インドを代表する観光寝台列車「デカン・オデッセイ」でゆく旅

ツアープランナーより

日本でも近年は「四季島」や「なつ星」など、豪華なクルーズトレインが人気となり、高い評価を得ています。ヨーロッパのオリエント急行や南アフリカのブルートレインなど、世界の憧れの列車に対抗するかのよう鉄道大国インドでも、観光寝台列車が登場しました。2004年デビューの「デカン・オデッセイ」がその代表格です。ワールドでは、2008年にデカン・オデッセイを利用したツアーを実施し、これまでに400名以上のご参加をいただきました。デカン・オデッセイはコロナ禍のリノベーションを終えて、見事に復活を遂げました。徹底したホスピタリティや車内サービスは大変好評で、また乗りたいというリピーターのお声も多くいただいております。欧米の富裕層からも高い支持を得て、大変な人気を博しておりますが、このたび1本限定でキャビン確保することができました。コースは、インド観光のハイライト的存在のアグラ、ジャイプール、ベナレスなどに加えて、あまり訪れることのないインド平原中部の魅力的な町々を訪ねるコースです。インドは国土があまりに広大で、各地に多くの見どころが点在しているため、長距離のバス移動であったり、早朝の航空機を駆使しての行程になってしまいがちですが、観光寝台列車デカン・オデッセイに7泊8日して、快適に宿泊しながらのご旅行です。インド旅行の新しい旅のスタイルとしてお楽しみください。

インドが誇る豪華観光列車「デカン・オデッセイ号」

鉄道大国インドが誇るデカン・オデッセイ号は、落ち着いた濃紺の車体に黄金のラインがひときわ印象的な列車です。2004年1月にデビュー。マハラシュトラ州(ムンバイが州都のインド中西部州)の政府が旅行会社と契約を結んで運営している、いわば公営の観光寝台列車です。運行当初は西インドのマハラシュトラ州がおもな行先でしたが、今では様々なルートが生まれ、インドのハイライトの旅に出かけられます。快適な鉄道を利用し、北インド周遊の旅をお楽しみください。

デカン・オデッセイ号が愛される5つの魅力

- 1 車両わずか4室。全室トイレ・シャワー付き。
- 2 お食事は洋食、インド料理などの日替わりコース・メニュー。※食事は前菜、スープ、メイン、デザートが、すべてチョイスメニューです。主に昼食は、市内の高級ホテル内レストランでのビュッフェとなります。
- 3 旅や客室のお手伝いをするパトラー(執事)制度。
- 4 パーラウンジ車両やスパ車両、ライブラリー車両など、公共スペースも充実。
- 5 乗客だけが楽しめる各地での特別歓迎プログラム。

デカン・オデッセイ号の車両編成

- デラックス・スイートキャビン 10両(1車両4室)
- ダイニング車両 2両 ■ パー・ラウンジ車両
- エステ・スパ車両 ■ 特別講義や会議用車両
- その他、スタッフ用3車両(乗車人数により車両数が異なる場合がございます)

利用予定航空会社：エア・インディア、日本航空		ツアーコード：IN071T	
集合・日数・出発日	旅行代金		
【羽田空港集合・11日間】 11月28日(金)	エコノミークラス利用 ¥1,480,000	ビジネスクラス利用 お問い合わせください	
(お1人でご参加のお客様は、1名室利用追加代金¥480,000にて承ります)			
ビジネスクラス利用区間：日本発着の国際線区間往復(羽田空港～デリー-空港間往復)			
燃油サーチャージ別途目安：¥19,000：5月1日現在			
地方発着追加代金	大阪・名古屋～東京 片道 …… ¥5,000 福岡・札幌～東京 片道 …… ¥10,000	但し、お条件がごまますので 各支店へお問い合わせください。	

駅	訪問地	スケジュール	宿泊地・食事
1	羽田空港11:50発 デリー 17:25着	午前、羽田空港よりデリーへ。 着後、空港近郊のホテルにチェックイン。 (デリー-空港近郊グルグラム泊) <input type="checkbox"/> 機 <input type="checkbox"/>	
2	デリー 18:30発	午前、オールド・デリーへ。 <input type="checkbox"/> ●レッド・フォート、●ジャマ・モスク(注1)を見学。 昼食は、ムガル料理レストランにてインド伝統料理をご用意しました。午後、 <input type="checkbox"/> ●フマユーン廟を訪ねます。 夕刻、デリーの鉄道駅より、観光寝台列車「デカン・オデッセイ号」に乗車。7泊8日の列車の旅で、北インドの珠玉の見どころを訪ねます(注2)。【デカン・オデッセイ7泊の旅】(車中泊) 朝昼夕	
3	サワイ・マドプール06:35発 ランタンボール国立公園 サワイ・マドプール18:00発	サワイ・マドプール駅着後、○サワイ・マドプール近郊の村の散策を楽しみます。 午後、かつてのマハラジャの狩猟地、●ランタンボール国立公園へ。4輪駆動車にて、ベンガル・タイガーを探してのドライブ・サファリ(注3)にご案内します。 (車中泊) 朝昼夕	
4	ジャイプール03:00着 ジャイプール21:00発	終日、「ピンク・シティ」と称される、 <input type="checkbox"/> ●ジャイプール旧市街と周辺の観光。郊外の <input type="checkbox"/> ●ランタンボールの丘陵城塞群のひとつ○アンベール城、ジャイプール旧市街にて、○風の宮殿、○シティ・パレスへご案内します。 (車中泊) 朝昼夕	
5	アグラ02:00着 アグラ20:00発	午前、「世界で最も美しい廟」と称される、 <input type="checkbox"/> ●タージ・マハルを見学します。午後、別名「赤い城」の <input type="checkbox"/> ●アグラ城を訪ねます。 (車中泊) 朝昼夕	
6	ベナレス08:00着 ベナレス21:00発	終日、インド最大のヒンドゥー聖地ベナレスの観光。○旧市街の散策、母なる大河ガンジス川の○沐浴場(ガート)をご覧いただきます。夕刻は、ガンジス川のポート遊覧にご案内します。 (車中泊) 朝昼夕	
7	カジュラホ09:30着 カジュラホ22:00発	午前、 <input type="checkbox"/> ●カジュラホの建造物群の観光。○カンドリヤ・マハーデーバ寺院などを訪れ、ミトゥナ像(男女混合彫刻)と呼ばれる精緻な寺院彫刻をご覧いただきます。 夕刻、列車に戻ります。 (車中泊) 朝昼夕	
8	オルチャ04:00着 グワリオール オルチャ 21:00発	午前、丘陵に建つ <input type="checkbox"/> ●グワリオール要塞を訪ねます。 午後、デカン高原中央部の古都オルチャに戻ります。 着後、ヒンドゥーとイスラム様式が融合した歴史的建造物が残る <input type="checkbox"/> ●オルチャの観光。○城塞、○寺院群などへご案内します。 (車中泊) 朝昼夕	
9	デリー 07:30着	午前、列車はデリー駅に到着。お世話になったスタッフに別れを告げて「デカン・オデッセイ号」より下車します。 その後、インド最古のミナレット、 <input type="checkbox"/> ●クトゥブ・ミナール、○インド門と○大統領官邸を訪ねます。午後、市内の高級ホテル「タージ・マハル」にチェックイン。 (デリー泊) 朝昼夕	
10	デリー 20:20発	午前、出発までゆっくりとお過ごしください。 午前、●国立博物館を見学します。 昼食は、モダン・インド料理の名店「インディアン・アクセント」にて、創作インド料理をお楽しみいただきます。 夜、デリーより航空機にて帰国の途へ。 (機中泊) 朝昼機	
11	羽田空港07:55着	朝、羽田空港に到着。解散。 <input type="checkbox"/> 機 <input type="checkbox"/>	

※日程表の時刻は、羽田空港発着のエア・インディアの利用を想定したものです。他の航空会社を利用の場合には、発着空港および時刻、日程は異なります。

※鉄道の各都市の発着時刻は、現地の状況により変更となる場合がございます。
(注1)ジャマ・モスクは、礼拝などによって、入場できない場合がございます。
(注2)デカン・オデッセイでの7泊8日のツアー中は、他の乗客との混乗バスで移動し、観光もワールド航空サービス専用グループではなく、複数の乗客と一緒に見学します。
(注3)ランタンボール国立公園でのドライブ・サファリにおいては、自然条件その他により、動物がご覧いただけない場合もございます。また、国立公園の予約の関係で、パスポートのコピーが必要となりますので、参加申込書とお送りください。

ご旅行条件とご注意

■最少催行人員：10名様 ■食事：朝食9回、昼食9回、夕食8回 ■添乗員：羽田空港ご出発時から羽田空港ご到着時まで同行します。 ■バスポート必要残存有効期間：入国時6か月以上 ■バスポート査証未使用欄：見開き2ページ以上必要 ■列車でのチップが別途必要となります。目安は、1名様あたり80ドル(1日10ドル)です。■査証代実費：3,900円(2025年4月現在) ■査証取得手数料：6,600円(税込) ■査証用写真：1枚(縦5cm×横5cm。裏にサインはしないこと。カラー写真、背景は白色。顔の縦(頭からあごまで)サイズが2.5cm～3.5cm。目の位置から写真の底面までは2.9cm～3.5cm。正面向き、顔や背景に影の無いもの。スナップ写真およびデジタル加工されたものは不可。3か月以内に撮影されたもの。肩のライン(肩から上)がはっきりしたもの)。■バスポートのカラーコピーをお預かりします。

ご宿泊ホテル

■ デリー-空港近郊グルグラム(1日目)：ラマダ・バイ・ウィングダム・グルガオン
■ デリー(9日目)：タージ・マハル
ニューデリー市内にある、インド名門ホテルグループ「タージ・ホテルズ・リゾーツ&パレス」による高級ホテルです。2名様1室利用の場合も、ベッドはハリウッド・ツインとなります。
※いずれのホテルも、シャワーのみのお客室となります。

9つの世界遺産へ ムガールの絢爛と マハラジャの栄華 8日間



朝の幻想的なタージ・マハルはぜひご覧いただきたい絶景です（イメージ）※天候によってはご覧いただけない場合もございます

ここに注目。旅のポイント

ヤムナー川の対岸から眺める、こだわりのタージ・マハル

アグラでは、細密で抽象的なイスラム・ペルシャ文化とのびやかで大陸的なインド文化が混じり合い生まれた、まさに「絢爛」と呼ぶにふさわしいムガル文化の粋をご覧いただけます。その代表格である世界遺産タージ・マハルは、ムガール

ル帝国皇帝シャー・ジャハーンが愛する妃のために造り上げた白亜の霊廟。通常の入場観光だけでなく、朝の静けさの中佇むタージ・マハルの姿をヤムナー川の対岸のビュースポットからもご覧いただけます。



タージ・マハルは自由時間を設けてゆっくりと見学

ツアープランナーより

インドだけでなく、世界的にも有名なイスラム建築として、まず思い浮かぶのがタージ・マハルでしょう。ムガル帝国期に建築された白亜の霊廟は、古都アグラを流れるヤムナー川沿いに佇みます。そのアグラ、首都のあるデリー、そしてマハラジャの暮らすジャイプール…これら三都は「ゴールデン・トライアングル」と称えられ、中世期にインド亜大陸を席捲したイスラムやヒンドゥー王朝の歴史建築が目白押しです。急ぎ足で1泊ずつでも巡れますが、ワールドではそれぞれに連泊。ゆとりを持たせながらも、世界遺産のみならず、町や途上にあるおすすめの観光地へもご案内します。

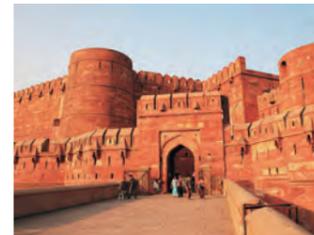


アグラ城（イメージ）

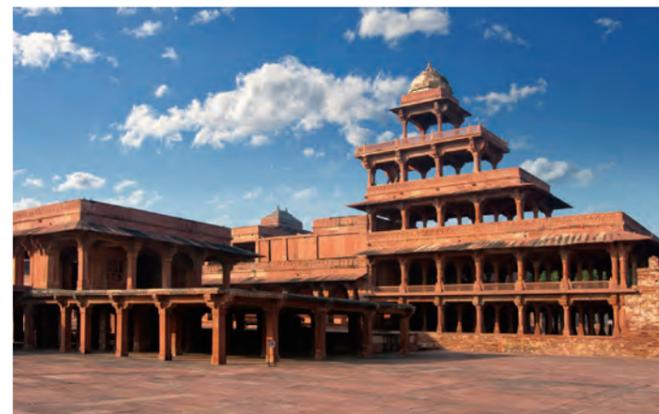
アグラ周辺に残るムガル帝国の遺産を訪ねます

アグラに連泊し、周辺を含めてムガル帝国の栄華をご案内します。アグラ城はアクバル帝によって築かれた、まさにムガル帝国の権威の象徴。赤砂岩で造られた堂々たる宮殿が、より美しく見える午後に合わせて訪ねます。アグラ郊外にあるアクバル帝の城跡ファタープル・シクリは、水不足により建築後わずか14年で放棄されたため、ほぼ無傷で残ったムガールの

都として世界遺産に登録されています。（現地の天候により、訪問の時間帯を調整、入れ替える場合がございます）



アグラ城（イメージ）



世界遺産ファタープル・シクリ

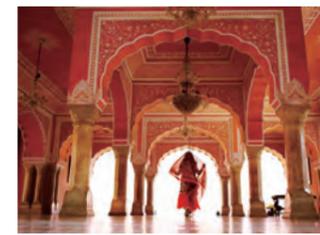
マハラジャが暮らす「ピンクシティ」ジャイプール

ラージプート族が築き、マハラジャの末裔が今も暮らす町ジャイプール。ピンク色に統一された旧市街は「ピンクシティ」と呼ばれます。かつて各地の藩王として権勢を誇った各地のマハラジャも一種の象徴的存在になってきてはいますが、

ジャイプールのマハラジャは今も絢爛豪華なシティ・パレスに暮らしています。ツアーでは連泊してシティ・パレスや世界遺産のジャンタル・マンタル（天文台）、郊外に位置する丘陵の城砦アンベール城など、主要な見どころにご案内します。



ジャイプールのシンボル、風の宮殿。旧市街「ピンク・シティ」を象徴する建築です（イメージ）



シティ・パレス



世界遺産アンベール城の白亜・ガネーシャ門

ツアーの見どころ

インドの歴史を刻む世界遺産の数々も訪問

ムガル帝国第2代皇帝のフマユーン廟や、奴隷王朝の初代王によるインド最古のイスラム建築クトゥブ・ミナールをはじめ、深い歴史と多様な民族文化を誇るインドの世界遺産を巡ります。



フマユーン廟



クトゥブ・ミナール



アバネリ村のチャンド・バオリ（階段井戸）

✂️ アンベール城内にあるレストラン「1135AD」

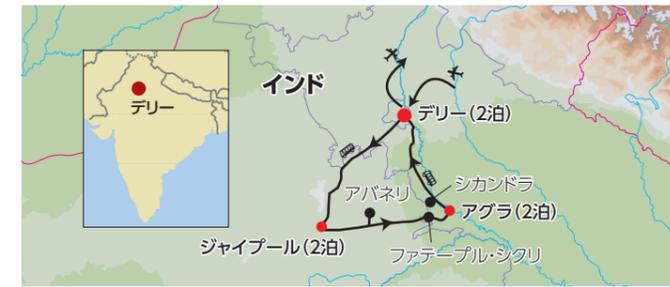
日本でもポピュラーになってきたインド料理。豊富なスパイスと食材には驚かされます。かつての宮殿の部屋をそのまま使った趣のあるレストラン「1135AD」をはじめ、各地でのお食事にもこだわりました。

デリーではムガル帝国の宮廷料理人の子孫が築いた老舗ムガル料理のレストラン「カリーム」や「アジアのベストレストラン50」

にも選定されたモダンな創作インド料理の「インディアン・アクセント」でのランチも楽しめます。



世界遺産アンベール城内のレストラン「1135AD」



利用予定航空会社：日本航空、エア・インディア		ツアーコード：IN088T	
集合・日数・出発日	旅行代金		
【羽田空港集合・8日間】 2025年 11月18日(火)、12月9日(火) 2026年 1月13日(火)、2月10日(火) 3月10日(火)	エコノミークラス利用 ¥348,000	ビジネスクラス利用 お問い合わせください	
(お1人でご参加のお客様は、1名室利用追加料金¥80,000にて承ります)			
ビジネスクラス利用区間：国際線全区間（羽田空港～デリー間往復）			
燃油サーチャージ別途目安：¥42,000・4月1日現在			

日本各地から日本航空にて片道¥8,000の追加料金で羽田へ

航空会社の指定および便の指定はできません。その他、付帯条件がございますので、詳しくはお問い合わせください。

日	訪問地	スケジュール	宿泊地・食事
1	羽田空港11:50発 → デリー 17:20着	午前、羽田空港より航空機にてデリーへ。着後デリーのホテルにチェックイン。【2連泊】(デリー泊) <input type="checkbox"/> 機 <input type="checkbox"/>	
2	デリー	終日、デリーの観光にご案内します。午前、 <input type="checkbox"/> ①レッド・フォート、 <input type="checkbox"/> ②ジャマ・マスジッド(モスク)を見学。ランチは、ムガル料理レストラン「カリーム」にて、本場のローカルなインド料理を。午後、 <input type="checkbox"/> ③フマユーン廟、 <input type="checkbox"/> ④クトゥブ・ミナールを訪ねます。(デリー泊) 朝昼夕	
3	デリー 08:00発 → ジャイプール 13:30着	午前、専用バスにてデリーよりジャイプールへ。午後、 <input type="checkbox"/> ⑤ジャイプール旧市街「ピンク・シティ」を散策。 <input type="checkbox"/> ⑥風の宮殿、 <input type="checkbox"/> ⑦シティ・パレス、 <input type="checkbox"/> ⑧ジャンタル・マンタルを見学します。夕刻、ジャイプールのホテルにチェックイン。【2連泊】(ジャイプール泊) 朝昼夕	
4	ジャイプール	午前、 <input type="checkbox"/> ⑨アンベール城を見学。ランチは、城内の「1135AD」にてご用意しました。午後、ナルガール城塞からジャイプールの町並みをご覧いただき、ホテルに戻ります。夜は、ラジャスタン民族舞踊をご覧いただきながらの夕食です。(ジャイプール泊) 朝昼夕	
5	ジャイプール08:00発 → アバネリ → ファタープル・シクリ → アグラ18:00着	午前、アグラへ。途中、ジャイプール近郊のアバネリ村の階段井戸 <input type="checkbox"/> ⑩チャンド・バオリにも立ち寄り。午後、 <input type="checkbox"/> ⑪ファタープル・シクリを見学。夕刻、アグラのホテルにチェックイン。【2連泊】(アグラ泊) 朝昼夕	
6	アグラ (タージ・マハル)	朝、ヤムナー川対岸より、朝日を浴びる <input type="checkbox"/> ⑫タージ・マハルをご覧ください(注)。 <input type="checkbox"/> ⑬イティマド・ウッダウラー廟も見学します。午前、 <input type="checkbox"/> ⑭タージ・マハルへ。自由時間を設けてゆっくりと見学します。午後、 <input type="checkbox"/> ⑮アグラ城を訪ねます。(アグラ泊) 朝昼夕	
7	アグラ08:00発 → シカンドラ → デリー 14:00着	午前、高速道路にてデリーへ戻ります。途中、シカンドラの <input type="checkbox"/> ⑯アクバル大帝の霊廟を見学します。デリー着後、遅めのランチをインドモダン料理「インディアン・アクセント」にてお召上がりください。夕刻、空港へ。	
	デリー 19:55発 →	夜、デリーより航空機にて帰国の途へ。(機中泊) 朝昼機	
8	羽田空港07:55着	朝、羽田空港に到着後、解散。機 <input type="checkbox"/> 機 <input type="checkbox"/>	

※日程表の時刻は、羽田空港発着の日本航空の利用を想定したものです。他の航空会社を利用の場合には、発着空港および時刻、日程は異なります。(注)天候によってはご覧いただけない場合がございます。

ご旅行条件とご注意

■最少催行人員：10名様 ■食事：朝食6回、昼食6回、夕食5回 ■添乗員：羽田空港ご出発時から羽田空港ご到着時まで同行します。 ■バスポート必要残存有効期間：入国時6か月以上 ■バスポート査証未使用欄：2ページ以上必要 ■査証代金：3,900円(2025年4月現在) ■査証取得手数料：6,600円(税込) ■査証用写真：1枚(縦5cm×横5cm、カラー写真、背景は白色。顔の縦(頭からあごまで)サイズが2.5cm～3.5cm。目の位置から写真の底面までは2.9cm～3.5cm。正面向き、顔や背景に影の無いもの。スナップ写真およびデジタル加工されたものは不可。3か月以内に撮影されたもの。肩のライン(肩から上)がはっきりしたもの)。 ■バスポートのカラーコピーをお預かりします。

ご宿泊ホテル

- デリー：ザ・ブライド・プラザ・エアロシティ・ホテル
- ジャイプール：サローヴァル・プレミア・ジャイプール
- アグラ：ホテル・ラディソン または グランド・メルキュール・アグラ

※いずれのホテルもシャワーのみの客室となります。また、2名様利用の客室のベッドタイプはハリウッドツインタイプとなります。

3つの仏教関連の世界遺産を訪問

仏教芸術屈指の世界遺産アジャンタ、エローラとサーンチーの旅 9日間



岩盤を削って造られた石彫石窟のカイラーサナータ寺院(エローラ石窟)(イメージ)

ここに注目。旅のポイント

世界遺産アジャンタ石窟を日本語解説員とじっくり見学します

断崖をくりぬいて築かれたアジャンタ石窟寺院。全34の石窟にはインドが誇る仏教芸術最高峰の壁画や彫刻が残り、まさに「極上の世界遺産」と呼ぶにふさわしいものです。今回は終日かけて、公開していない石窟を除く主要な石窟を、日本語解説員とともに丹念に巡ります。古代壁画芸術の白眉「蓮華手菩薩像」のある第1窟をはじめ紀元前2世紀からの僧院窟や礼拝窟がそのままの形で残り、古代仏教の僧の生活を垣間見ることができます。硬質な玄武岩を人力でくりぬいた石窟群は古いもので2000年もの

歳月を経ても朽ちることなく、内部もフレスコ画も一部ではありますが、奇跡的に色彩鮮やかに残ります。古代仏教の源流を知るのに、見逃せない世界遺産です。



アジャンタ石窟 法隆寺の蓮華手菩薩像にも影響を与えたとされる第1窟の蓮華手菩薩像



アジャンタ石窟(イメージ)

ツアープランナーより

インドの美術史上、造形的にも保存状態からも高く評価されているアジャンタ、エローラ、サーンチーの仏教遺跡。いずれも世界遺産に登録される、古代インド仏教の傑作です。このたびはオーランガバードに3連泊し、アジャンタ石窟では終日たっぷり時間を取って、日本語の専門ガイドの案内のもとしっかりとご案内します。エローラ石窟では自由時間をお取りして、ヒンドゥー教寺院の傑作カイラーサナータ寺院を堪能していただきます。また、インド中部にあるインド最古の仏教遺跡サーンチーも見逃せません。インド国内線を駆使して、デカン高原の都市オーランガバードから中部のボーパールまでは陸路移動して、通常は訪れづらい訪問地をつなぎます。高い芸術性から、古代仏教を知る上でとても希少な遺跡です。仏教の源流を求めて、中部インドへぜひお出かけください。



アジャンタ石窟(イメージ)

エローラ石窟のカイラーサナータ寺院で圧巻の彫刻を堪能

アジャンタ石窟が紀元前後までさかのぼる古代仏教芸術を今に伝えるのに対して、エローラ石窟は古代仏教からヒンドゥー教、ジャイナ教とインド生まれの3つの信仰による石窟寺院が残ります。特に第16窟のカイラーサナータ寺院は必見。人力のみで、100年もの歳月をかけて岩山を上からくり抜いて造られた「世界最大の彫刻」です。ここでは自由時間もお取りします

ので、内部見学だけでなく、ご希望の方は山上まで上がり掘り進んだ様子もご覧いただけます。



古代インド美術の緻密さに驚かされます(エローラ石窟)



内部からのカイラーサナータ寺院も迫力があります

インド最古の仏教遺跡サーンチー

インド最古の仏教遺跡サーンチー。仏舎利を祀るストゥーパと日本の鳥居に似たトラナ(塔門)の美しいレリーフで有名です。サーンチーの第1ストゥーパはインド初の統一王朝マウリヤ朝のアショーカ王が釈迦の骨・仏舎利を納めるために建立したもので、以後、サーンチーは仏教の聖地として栄え続けました。長いインドの歴史の中で紀元前の建築物が残されているのは奇跡的です。中部インドにあるため、なかなか訪れづらい場所ながら、古代仏教遺産として見逃すことのできない見どころへ足を延ばします。



仏教の聖地として栄えたサーンチー遺跡

ツアーの見どころ

石窟だけでないオーランガバードの魅力

オーランガバード周辺にはミニタージ・マハルと呼ばれるビービー・カ・マクバラなど石窟以外にも見どころがあります。素朴なバザールで、デカン高原に生きる人々の姿が垣間見えるクルダーバード村も訪ねます。



「ミニ・タージ」、「デカン高原のタージ」と呼ばれるビービー・カ・マクバラ

世界遺産ビームベトカ岩絵遺跡群

ビームベトカの岩絵遺跡群は、世界遺産に登録される隠れた見どころです。ボーパール近郊の自然豊かな岩山に描かれた動物や宗教儀礼、人々の生活を描いた岩絵は、現代に古代インドの様子を生き生きと伝えてくれます。ボーパール滞在中に、サーンチーとあわせて2つの世界遺産を訪ねます。



ビームベトカに残る岩絵

✂ ✂ ✂ 旅の締めくくりには、洗練された創作インド料理レストランでのランチを

旅の締めくくりには、ニューデリーにあるレストラン「インディアン・アクセント」でのランチも楽しみください。「アジアのベストレストラン50」にも選定されており、メニュー表からは想像できないほどお洒落な盛り付けのモダンな創作インド料理が提供されます。

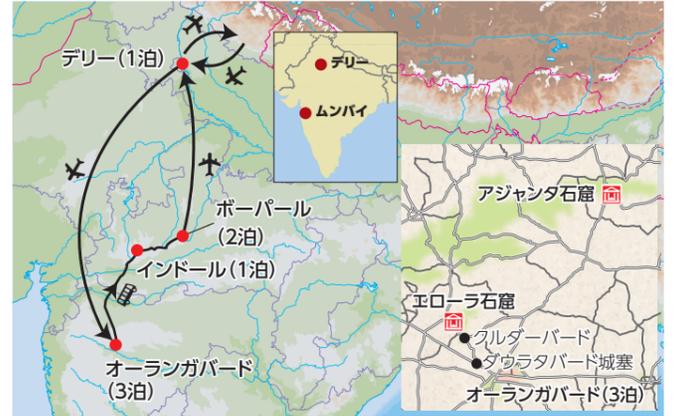



ニューデリーの「インディアン・アクセント」 モダンで洗練されたインド料理(イメージ)

ご宿泊ホテル

- デリー近郊(空港近郊)：ラマダ・パイ・ウィングダム・グルガオン・セントラル
- オーランガバード：レモンツリー・ホテル・オーランガバード(12月2日発) ヴィヴァンタ・オーランガバード(1月20日発、3月17日発)
- インドール：レモンツリー・ホテル
- ボーパール：タージ・レイクフロント・ホテル ※レイクビューの客室をご用意しました。

※各地のホテルはいずれも、シャワーのみの客室となります。また、2名様利用の客室のベッドタイプはハリウッド・ツインタイプとなります。



利用予定航空会社：エア・インド	ツアーコード：IN057T
集合・日数・出発日	旅行代金
【羽田空港集合・9日間】 2025年 12月2日(火) 2026年 1月20日(火)、3月17日(火)	エコノミークラス利用 ¥398,000 ビジネスクラス利用 お問い合わせください
(お1人でご参加のお客様は、1名室利用追加料金¥99,000にて承ります)	
ビジネスクラス利用区間：国際線全区間(羽田空港～デリー間往復)	
燃油サーチャージ別途目安：¥19,000・5月1日現在	

地方発着追加代金	大阪・名古屋～東京 片道 …… ¥5,000 福岡・札幌～東京 片道 …… ¥10,000	包摂条件がございますので 各支店へお問い合わせください
----------	--	--------------------------------

日	訪問地	スケジュール	宿泊地・食事
1	羽田空港11:50発→デリー 17:25着	羽田空港より、航空機にてデリーへ。着後、ホテルにチェックイン。	(デリー泊) □機内食
2	デリー 05:00発→オーランガバード07:10着	早朝、デリーより航空機にてオーランガバードへ。着後、市内観光へ。●オーランガバード石窟寺院、●ビービー・カ・マクバラにご案内します。午後、早めにホテルにチェックイン。	【3連泊】(オーランガバード泊) 朝昼夕
3	オーランガバード(園アジャンタ石窟寺院群)	終日かけて、珠玉の園●アジャンタ石窟寺院群を訪ねます。また、アジャンタの渓谷を俯瞰するビューポイントへもご案内します。日本語の専門ガイドとともに、紀元前1世紀から始まる、古代仏教寺院石窟を、たっぷり時間をかけて訪ねます。(一部、閉鎖中、未公開の石窟もございます)	(オーランガバード泊) 朝昼夕
4	オーランガバード(園エローラ石窟寺院)	午前、郊外の園●エローラ石窟寺院へ。仏教、ヒンドゥー教、ジャイナ教の3つの宗教の石窟寺院が見られます。ヒンドゥー教の石彫寺院●カイラーサナータ寺院は、自由時間をかけてゆっくりとご覧いただけます。午後、クルダーバードに立ち寄り、バザールの散策とオーラングゼーブ帝の墓所を見学します。夕刻、オーランガバードに戻ります。	(オーランガバード泊) 朝昼夕
5	オーランガバード07:00発⇒インドール18:00着	午前、専用バスにてオーランガバードよりインドールへ(本日は終日、移動日です)。夕刻、ホテルにチェックイン。	(インドール泊) 朝昼夕
6	インドール10:30発⇒ボーパール18:00着	午前、インドールの観光。●ラジワダ宮殿を見学。その後、ボーパールへ。着後、ホテルにチェックイン。	【2連泊】(ボーパール泊) 朝昼夕
7	ボーパール(園サーンチー遺跡)(園ビームベトカ)	終日、ボーパール周辺の観光にご案内します。アショーカ王により建立された園●サーンチー遺跡と、古代壁画の見える園●ビームベトカの2つの世界遺産を巡ります。夕刻、ボーパールに戻ります。	(ボーパール泊) 朝昼夕
8	ボーパール08:05発→デリー 09:35着	朝、国内線でデリーに戻ります。着後、●国立博物館を訪ねます。ランチは、インドモダン料理「インディアン・アクセント」にてご用意しました。	(機中泊) 朝昼機
9	デリー 20:20発→羽田空港07:55着	夜、航空機にて帰国の途へ。朝、羽田空港到着。着後、解散。	機中泊 □機内食

※1月20日発では、1月26日がインドの建国記念日(共和国記念日)にあたるため、翌日8日目デリーでの行程が通常と異なる場合がございます。建国記念日の影響による観光箇所の閉館やレストランの休業等の情報は5月現在では未定の為、万一予定の行程でご案内することが出来ない場合には、代替の観光やレストランにご案内いたします。

ご旅行条件とご注意	
■最少催行人員：10名様	■食事：朝食7回、昼食7回、夕食6回
■バスポート必要残存有効期間：入国時6か月以上	■添乗員：羽田空港ご出発時から羽田空港ご到着時まで同行します。
■ページ以上必要	■査証代実費：3,900円(2025年4月現在)
■査証取得手数料：6,600円(税込)	■査証用写真：1枚(縦5cm×横5cm。カラー写真、背景は白色。顔の縦(頭からあごまで)サイズが2.5cm～3.5cm。目の位置から写真の底面までは2.9cm～3.5cm。正面向き、顔や背景に影の無いもの。スナップ写真およびデジタル加工されたものは不可。3か月以内に撮影されたもの。肩のライン(肩から上)がはっきりしたものの。
■パスポートのカラーコピーをお預かりします。	

燃油サーチャージ込み アクセスの難しいデカン高原の傑作遺跡を巡る

インド最大の遺跡ハンピと黄金のゴア 9日間



インド最大のヒンドゥー教遺跡ハンピ(イメージ)

ここに注目。旅のポイント

インド最大の都市遺跡にして中世王朝の王都を代表する「ハンピ」を終日かけて訪問

北インドがイスラム勢力の支配下におかれた中世期、14～17世紀に南インドではヴィジャヤナガラ王国が繁栄を極めました。その王国の都が置かれたのがハンピです。往時の人口は50万人と、「世界の半分」と謳われたイランのイスファハンに匹敵します。王宮や寺院跡が40余り点在し、全盛期には城壁を七重にめぐらせて、その防備は世界一だったと伝えられています。ハンピ遺跡の白眉ヴィルーパークシャ寺院の巨大な階層状の塔門、ヴィッタラ寺院のいたるところに施された芸術性の高いレリーフと、見

どころが尽きません。荒涼とした丸い巨大な岩が転がる不思議な自然景観の中に残る遺跡は、当時の文化、芸術レベルの高さが窺い知れます。王宮地区、寺院地区に分かれる広大な土地ですので近郊のホスペットに連泊して、終日かけてご案内します。



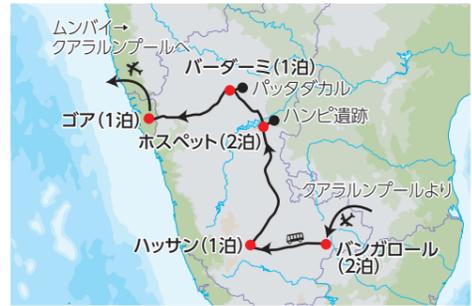
ヴィッタラ寺院。ヴィジャヤナガラ様式の最高傑作と称される石造りのチャリオット(山車)



大きな石が風景美を作り出すヘーマクータの丘からヴィルーパークシャ寺院を望む(イメージ)

ツアープランナーより

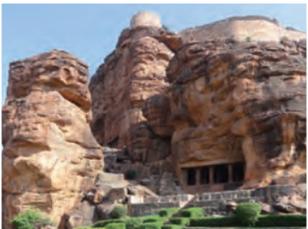
北にはタージ・マハル、南にはドラヴィダ様式のヒンドゥー教寺院。広大なインドは、その場所ごとに多くの見どころがありますが、このたびは南部の中でも特に訪れにくいデカン高原の南部カルナータカ州にご注目ください。ここで必見なのは、中世インドにおいて有数の規模の都市を築き上げたヒンドゥー王朝の王都「ハンピ」です。荒涼とした大地に突如として現れる巨大寺院遺跡は、北部や南部のどの寺院建築とも異なり、その偉容と細やかな芸術性の高さに驚嘆させられます。遺跡近くのホスペットに滞在して、終日かけてハンピの芸術的な建築群をたっぷりご覧いただけます。旅は州都バンガロールから始め、デカン高原を駆けて、最後は旧ポルトガル領ゴアまで。一筆書きのルートで、インド建築の白眉に迫ります。



南インド最古のヒンドゥー遺跡が残るバーダーミ 中世のままの町並みも魅力

ハンピの北、車で約4時間ほど走ったところに、南インドのヒンドゥー遺跡のなかで最古といわれるバーダーミがあります。前期チャールキヤ朝(6～8世紀)の都として栄え、玄奘三蔵が訪ねたこともあります。アジャンタとも时期的に重なる、同じく石窟寺院で、岩山に穿たれた第1窟から第3窟はヒンドゥー教のシヴァ神やヴィシュヌ神が祀られ、第4窟はジャイナ教の寺院です。岩山の上からは白い家々が連なる旧

市街が覗きます。観光地化されずに中世インドそのままの面影を残すこの旧市街も魅力的です。



バーダーミは巨大な岩山をくり抜いて建設された石窟寺院です



バーダーミ石窟の麓には町が広がります(イメージ)

破壊を免れたヒンドゥー遺跡の数々が残る 世界遺産パッタダカル

前期チャールキヤ朝の都をご紹介したバーダーミでしたが、パッタダカルは戴冠式が行われた場所で、7～8世紀にかけて美しいヒンドゥー教の寺院が次々と建設されていきました。イスラム勢力による破壊を奇跡的に免れ、現在もシヴァ神を祀る9つの寺院遺跡が残されています。ヒンドゥー教の寺院には様式として、本殿の屋根(シカラ)の形が砲弾型になっている北方型と、ピラミッド型になっている南方型があります。ここには各

地から徴集された職人たちが手がけた、北方型と南方型だけでなく、北方・南方の様式が混在したものがあり、北から南への建築様式の変遷を見ることができます。



パッタダカル遺跡 北方系の砲弾型のシカラを持つガガナータ寺院



パッタダカル遺跡 南方系のヴィルーパークシャ寺院の複合建築。最も見応えがあるといわれます

旅の最終目的地は大航海時代の拠点 ポルトガルの面影を残すゴアへ

ヒンドゥー世界を旅して迎り着くのはアラビア海に面したゴア。古くは海のシルクロードの重要な拠点として栄えた歴史を持ちます。大航海時代、ゴアの港から運び出されたのが、金銀と同様の価値を有したスパイスです。その富を得ようと、大航海時代にはポルトガルが先駆けてインド洋に進出。ゴアはその拠点となり、インドがイギリスより独立した1947年の後も1961年までポルトガル領の港町と

して賑わいました。それゆえキリスト教会やヨーロッパ風の町並みが残されており、日本にゆかりの深いフランシスコ・ザビエルが眠るポム・ジェズ教会などは、「ゴアの教会群と修道院群」として世界遺産に登録されています。インドで最も小さいゴア州ですが、今もキリスト教徒の割合が比較的高く、教会で祈りを捧げるインドの人々の姿が見え、ポルトガルの風情を感じられる興味深い場所です。



世界遺産「ゴアの教会群と修道院群」を訪れます



ザビエルが眠るポム・ジェズ教会は、ポルトガルを感じるバロック建築(添乗員撮影)

思わずため息が漏れる ホイサラ様式の傑作彫刻をお見逃しなく

11世紀から14世紀にかけて続いたホイサラ朝は、チャールキヤ朝の臣下が興した王朝です。ハーレビードのホイサレーシュワラ寺院はホイサラ王朝のなかで最大規模を誇る寺院ですが、同王朝は大きさの特質とするのではなく、埋め尽くすような精緻な石造彫刻が特徴です。

また近くに位置するペルールはホイサラ朝の最初の都が置かれた町。チェンナケーシャヴァ寺院も同様に夥しい彫刻で彩られています。なかでも「鏡を見る美女」の彫刻はユニークで、よく紹介されています。目を凝らして探してみてください。

利用予定航空会社：マレーシア航空		ツアーコード：IN053T	
集合・日数・出発日		旅行代金	
【成田空港集合・9日間】 2025年 12月2日(火) 2026年 2月10日(火)		エコノミークラス利用 ¥478,000	ビジネスクラス利用 ¥778,000
(お1人でご参加のお客様は、1名室利用追加代金¥90,000にて承ります)			
ビジネスクラス利用区間：成田空港～クアラルンプール～バンガロール、ムンバイ～クアラルンプール～成田空港間に適用			
燃油サーチャージは旅行代金に含まれております。			
地方発着追加代金	大阪・名古屋～東京 片道 …… ¥5,000 福岡・札幌～東京 片道 …… ¥10,000	乱付乗降がお込みですので 各支店へお問い合わせください	
日	訪問地	スケジュール	宿泊地・食事
1	成田空港10:05発 → クアラルンプール17:00着 クアラルンプール21:30発 → バンガロール23:20着	午前、成田空港より航空機にて、クアラルンプールへ。着後、航空機を乗り換え、バンガロールへ。深夜、ホテルにチェックインします。	【2連泊】(バンガロール泊) □機機
2	バンガロール	午前、ゆっくりとお過ごしください。昼食後、市内観光へ。●ティープー・スルターン宮殿、●ブル寺院、●ラールパーク植物園へご案内します。	(バンガロール泊) 朝昼夕
3	バンガロール08:00発 → ハッサン13:00着	午前、バンガロールより、ハッサンへ。着後、ペルールの○チェンナケーシャヴァ寺院、ハーレビードの○ホイサレーシュワラ寺院を見学します。(ハッサン泊) 朝昼夕	
4	ハッサン08:00発 → ホスペット18:00着	終日、ハッサンよりヴィジャヤナガラ朝の都ハンピに近いホスペットへ(本日は、移動日です)。着後、ホテルへ。	【2連泊】(ホスペット泊) 朝昼夕
5	ホスペット(世界遺産ハンピ遺跡)	午前、午後に分けて、たっぷりとおハンピ遺跡をご覧ください。○ヘーマクータの丘、寺院地区の●ヴィッタラ寺院、●ヴィルーパークシャ寺院、王宮地区の○ロータス・マハル、○階段池などへご案内します。	(ホスペット泊) 朝昼夕
6	ホスペット08:00発 → パッタダカル → バダーミ18:00着	午前、ホスペットより、バーダーミへ。途中、●パッタダカル寺院群に立ち寄りませす。午後、バーダーミ着。着後、●バーダーミの石窟群を見学します。	(バーダーミ泊) 朝昼夕
7	バーダーミ08:00発 → ゴア17:00着	終日、バーダーミよりゴアへ(本日は移動日です)。夕刻、ホテルにチェックイン。	(ゴア泊) 朝昼夕
8	ゴア17:00発 → ムンバイ18:25着 ムンバイ23:45発 →	午前、●ゴアの教会群、修道院群を見学。●ポム・ジェズ教会、○聖フランシスコ教会へご案内します。その後、ゴアの空港へ。夕刻、航空機にてムンバイへ。着後、航空機を乗り換え、クアラルンプールへ。	(機中泊) 朝機機
9	クアラルンプール07:25着 クアラルンプール09:40発 → 成田空港17:30着	着後、航空機を乗り換え、帰国の途へ。夕刻、成田空港到着後、解散。	機機□

ご旅行条件とご注意

■最少催行人員：10名様 ■食事：朝食7回、昼食7回、夕食6回 ■添乗員：成田空港ご出発時から成田空港ご到着時まで同行いたします。 ■パスポート必要残存有効期間：帰国時6か月以上 ■パスポート査証未使用欄：2ページ以上必要 ■査証代実費：3,900円(2025年4月現在) ■査証取得手数料：6,600円(税込) ■査証用写真：1枚(縦5cm×横5cm。カラー写真、背景は白色。顔の縦(頭からあごまで)サイズが2.5cm～3.5cm。目の位置から写真の底面までは2.9cm～3.5cm。正面向き、顔や背景に影の無いもの。スナップ写真およびデジタル加工されたものは不可。3か月以内に撮影されたもの。肩のライン(肩から上)がはっきりしたもの。 ■パスポートのカラーコピーをお預かりします。

ご宿泊ホテル

- バンガロール：ホリデイ・イン・バンガロール
- ハッサン：ホテル・ハサン・アショーク
- ホスペット：マリッジ・ホーム
- バーダーミ：バーダーミ・コート
- ゴア：ホリデイ・イン・ゴア・カンドリム

※各地のホテルはいずれも、シャワーのみの客室となります。また、2名様利用の客室のベッドタイプはハリウッド・ツインタイプとなります。



目の前にすると感嘆のため息が出てしまうホイサレーシュワラ寺院の彫刻群

燃油サーチャージ込み 世界遺産の階段井戸やインダス遺跡へ

注目の西南インド グジャラートの旅 9日間

ここに注目。旅のポイント

グジャラート建築の極みともいえる2つの階段井戸へご案内します

アーメダバードからパタンにかけて、この地方独特の建造物「階段井戸」が点在しています。西インドは乾燥した地域柄、水が少なく真夏は50度近くまで気温が上がる日もあります。そのため階段井戸は生活水をまかなう重要かつ神聖な場所として大切にされ、人々が涼を求めて集まるサロンとしても賑わいました。代表的な2つの階段井戸を訪ね、見事な装飾や立体的に彫り込まれたヒンドゥーの神々の彫刻やイスラム式の幾何学模様など、圧巻の建築美をご堪能ください。

①世界遺産グジャラート最古の階段井戸 ラーニ・キ・ヴァヴ(王妃の階段井戸)



11世紀、ビースディーヴァ1世の王妃ウダヤマティが、亡くなった王を偲んで造営したことから「王妃の階段井戸」と呼ばれます

②深さは30メートル 最も美しいといわれる アダーラジの階段井戸



イスラム建築を基調とするアダーラジの階段井戸

ツアープランナーより

旅の舞台は建国の父ガンディーを輩出した、インド最西部のグジャラート州。インド初の世界遺産都市アーメダバードでは、イスラム情緒漂う市街を逍遥。近郊には圧巻の「階段井戸」や古のインダス文明史跡もあり、なんとも歴史深い地です。旅の後半は、カッチ地方に3連泊。美しい伝統衣装を受け継ぐ少数民族で知られるこの地では、色彩豊かな衣装を身に纏った人々や独特の刺繍・織物文化との出会いを通じて、グジャラートの多彩な表情に触れていただけることでしょう。また、2021年に世界遺産となったドーラヴィーラも訪問。モヘンジョダロやハラッパに匹敵する、最大規模のインダス文明都市遺構ですが、世界遺産登録を受けて道路が整備されて格段に訪れやすくなりました。今こそ、色彩豊かで魅惑に満ちたグジャラートへお出かけください。



躍動的なヒンドゥー教の神々の像に目を奪われます(王妃の階段井戸)

2021年に世界遺産に登録された インダス文明の都市遺跡 ドーラヴィーラを見学

ブージ郊外に3連泊の滞在中に訪ねるハイライトが、モヘンジョダロ、ハラッパなどと並び、インダス文明五大都市のひとつに挙げられるドーラヴィーラ遺跡です。インダス文明遺跡の特徴である高度な下水施設や貯水槽、商店街の遺構などが残されており、2021年に世界遺産に登録されました。紀元前3000～1500年頃にかけて人々が住み、土器などの発見からメソポタミアやペルシャ湾地域と海洋交易が行われていたこともわかっています。



1967年に発見、2021年に世界遺産に登録されたドーラヴィーラ



紀元前3000年前後には、すでにこの地に都市文明がありました

グジャラート州最大の都市であり 世界遺産のアーメダバードに2連泊します

アーメダバードの2連泊では、貴重なインダス文明の都市遺跡、ロータール遺跡へ。原初的な都市機構や船溜りの跡もあり、この地が水上交易の拠点となっていたことが窺えます。また世界遺産のアーメダバード旧市街散策にもご案内しま



19世紀より綿工業などで栄えてきたアーメダバード



インダス文明の都市遺跡、ロータール遺跡

す。木造の伝統建築の私邸(ハヴェリ)巡りでは、闊歩する牛や元気に遊ぶ子どもたち、軒先で刺繍する女性や色鮮やかなサリー姿の女性が井戸端で洗濯する様子など、人々の暮らしの風景に出合えます。

ツアーの見どころ

美しき伝統を受け継ぐ少数民族の村々

カッチ地方の中心都市ブージの周辺には小さな集落が多く、伝統を守る人々が暮らしています。独特の刺繍文化を受け継ぐメグワル族の暮らすピランディアラ村や、ロー

ガンアート(ひまし油を使ったアート)で知られるニローナ村を訪ね、奥深く美しいインドの手工芸の世界にふれていただけます。



グジャラートの少数民族たちは刺繍などの手工芸を大切に受け継いでいます(イメージ) ©Meena Kadri



ダサダへの移動中に出会った小学生たち。元気いっぱい手を振ってくれました(添乗員撮影)

ガンディーが育ったラージコート

ラージコートはかつて同名の藩王国の都であり、交通の要衝として栄えてきました。ワトソン博物館を訪ねると、マハラジャの時代の貴重な遺産が見られます。また、

ラージコートはインド「建国の父」であるガンディーが幼少期を過ごした町であり、ツアーでは彼の遺品が残され、記念館になっている当時の家へご案内します。



ガンディーが育った家「カバ・ガンディー・ノ・デロ」



ガンディーゆかりの品や生涯などが紹介されています

ご宿泊ホテル

- アーメダバード：ジ・ウンミード・アーメダバード(旧タージ・ウンミードホテル)
※夜遅い到着のため、空港の近くのホテルに宿泊します。
- ダサダ：ラン・ライダーズ
- ブージ郊外：レジェンタ・リゾート
- ラージコート：サヤジ・ラージコート
※菜食主義(ベジタリアン)メニューのみのホテルです。

※いずれのホテルもシャワーのみの客室となります。

※各地のホテルはいずれも、シャワーのみの客室となります。また、2名様利用の客室のベッドタイプはハリウッド・ツインタイプとなります。



利用予定航空会社：マレーシア航空、シンガポール航空 ツアーコード：IN160T

集合・日数・出発日	旅行代金	
【成田または羽田空港集合・9日間】 2025年 12月16日(火) 2026年 3月24日(火)	エコノミークラス利用 ¥458,000	ビジネスクラス利用 ¥758,000
(お1人でご参加のお客様は、1名室利用追加代金¥80,000にて承ります)		
ビジネスクラス利用区間：東京～アーメダバード間往復		
燃油サーチャージは旅行代金に含まれております。		

地方着追加代金	大阪・名古屋～東京 片道 …… ¥5,000 福岡・札幌～東京 片道 …… ¥10,000	包付条件がございますので 必ずご確認ください
---------	--	---------------------------

日	訪問地	スケジュール	宿泊地・食事
1	成田空港10:05発 → クアラルンプール17:00着 クアラルンプール18:50発 → アーメダバード21:40着	午前、航空機にてクアラルンプールへ。 着後、航空機を乗り換えアーメダバードへ。 着後、ホテルへ。 【2連泊】(アーメダバード泊) <input type="checkbox"/> 機	
2	アーメダバード(ロータール遺跡)	午前、インダス文明の都市遺跡●ロータール遺跡を観光します。 「アガシエ」でグジャラートターリーのランチ。 午後、 <input type="checkbox"/> アーメダバード旧市街にご案内します。歴史ある○大モスクなどを見学。	朝 昼 夕
3	アーメダバード08:30発 → パタン ダサダ18:00着	午前、●アダーラジの階段井戸を見学。 その後、パタンへ。 パタン着後、 <input type="checkbox"/> 王妃の階段井戸ラーニ・キ・ヴァヴを見学。 見学後、小カッチ湿地のダサダへ。	朝 昼 夕
4	ダサダ08:00発 → (小カッチ湿原サファリ) ブージ18:00着	午前、インドノボを探しての小カッチ湿地サファリをお楽しみください。 その後、ブージ郊外のホテルへ。	【3連泊】(ブージ郊外泊) 朝 昼 夕
5	ブージ	午前、ブージの市内観光へ。●ブラーグマハル、●アーイーナマハルを見学。 午後、少数民族の村へ。メグワル族の暮らすピランディアラ村、ローガンアート(ひまし油でつくる装飾)で有名なニローナ村を訪ねます。	朝 昼 夕
6	ブージ(ドーラヴィーラ遺跡)	終日、インダス文明の都市遺構のうち、インド内で最大規模の <input type="checkbox"/> ドーラヴィーラ遺跡へ。途中、カッチ湿地の塩の大地を走ります。	朝 昼 夕
7	ブージ08:00発 → ジャムナーガル ラージコート18:00着	午前、ラージコートへ。 途中、ブジョーディー村や、絞り染めで有名な村ジャムナーガルに立ち寄りませす。 夕刻、ラージコートに到着。	(ラージコート泊) 朝 昼 夕
8	ラージコート13:00発 → アーメダバード22:40発	午前、ラージコートの市内観光。●カバ・ガンディー・ノ・デロ、●ワトソン博物館にご案内します。 その後、アーメダバードへ。 夜、航空機にてクアラルンプールへ。	(機中泊) 朝 昼 機
9	クアラルンプール06:45着 クアラルンプール09:40発 → 成田空港17:30着	着後、航空機を乗り換え、帰国の途へ。 夕刻、成田空港に到着。	機 機 <input type="checkbox"/>

※日程表の時刻は、成田空港発着のマレーシア航空の利用を想定したものです。他の便、または他の航空会社を利用の場合には、発着空港および時刻、日程は異なります。

※グジャラート州は独特の文化や自然景観がよく残る地域ですが、反面、道路の整備などはデリー近郊に比べ遅れているため、移動に時間を要します。

※グジャラート州はインドにおける「ドライステート」(禁酒州)となり、酒類の持ち込みはできません。また、現地での購入場所もかなり限定的となりますので、お飲みおきください(日本国内からの酒類の持ち込みはできず、またレストランなどの提供も、ございません)。

※また、グジャラート州は菜食主義(ベジタリアン)の多い州であるため、レストラン、ホテルによっては菜食(ベジ)料理のみの提供となる箇所がございます。(インドの菜食主義は、ミルク、バターなどは使われますが、肉・魚・卵の料理は避されます。)

ご旅行条件とご注意

■最少催行人員：10名様 ■食事：朝食7回、昼食7回、夕食6回 ■添乗員：成田空港または羽田空港ご出発時から成田空港または羽田空港ご到着時まで同行いたします。 ■パスポート必要残有効期間：帰国時6か月以上 ■パスポート査証未使用欄：2ページ以上必要 ■査証代実費：3,900円(2025年4月現在) ■査証取得手数料：6,600円(税込) ■査証用写真：1枚(縦5cm×横5cm。カラー写真、背景は白色。顔の縦(頭からあごまで)サイズが2.5cm～3.5cm。目の位置から写真の底面までは2.9cm～3.5cm。正面向き。顔や背景に影の無いもの。スナップ写真およびデジタル加工されたものは不可。3か月以内に撮影されたもの。肩のライン(肩から上)がはっきりしたもの)。 ■パスポートのカラーコピーをお預かりします。

8大仏跡をめぐる 大シルクロード紀行 天竺編 16日間



釈尊が悟りを開いたブッダガヤでは菩提樹の下で僧侶たちが読経を唱えています（イメージ）

ここに注目。旅のポイント

釈尊が生誕し転機を迎えた重要な聖地・8大仏跡を一筆書きのルートで訪ねます

【①三道宝階降下伝承の地】サンカシャ

サンカシャには仏陀の事蹟が残されているわけではありませんが、人々がここを訪れる理由は、マヤ夫人（ぶにん）についての伝説が残っているからです。マヤ夫人は、出産を終えた7日後に世を去り、釈尊は実母を

知らずに育ちます。仏陀として悟りを開いた後、マヤ夫人に説法をするために天界へわざわざ昇ったというお話があります。天界に昇り、母に説法をした後、地上に再び降り立った場所がサンカシャだと伝えられています。現在では寺院やストゥーパが建てられています。

【②祇園精舎の地】サハート・マヘート

マヘートは釈尊が生きていた時代、シュラヴァスティと呼ばれていたコーサラ国の都でした。郊外のサハートには、祇園精舎がありました。もとはコーサラ国の太子の土地であり、常日頃から貧者に施しを与えるような人物だったスダッタは釈尊の教えに感銘を受け、瞑想にふさわしいこの土地を寄進しようとし

ました。しかし太子はなかなか譲ることがなかったので、スダッタが土地一面に黄金を敷き詰め、太子の心を動かしたといわれます。



マヘートにあるスダッタの長者屋敷跡

【③生誕の地】ルンビニ

釈尊はヒマラヤ山脈の麓、古代北インドの一部族、釈迦族の王子として生まれました。母のマヤ夫人がお産

のために実家に戻る途中でのこと、現在のネパール領であるルンビニ園にある無憂樹の下に生まれました。その場所には聖堂が建てられ、中に

は釈尊の生誕地であることを示す碑があり、夫人が出産の前に沐浴した



マヤ夫人が沐浴したプスカリニ池

【④涅槃の地】クシナガル

悟りを開いてから布教伝道の旅を続けた釈尊は、死期を悟ると布教の旅を続けながら最後の旅に出ました。腹痛を訴えクシナガルに着くと2本の沙羅双樹の間に横たわり、そのまま起き上がることなく、80歳で入滅



クシナガルの大涅槃寺

池などが残されています。



釈尊が生まれたあとに建てられたマヤ聖堂とアショカ王の石柱（イメージ）

しました。その場所に建てられたお堂の脇には釈尊の死を悼み、沙羅の木が植えられています。故郷ルンビニは北にあり、父母に足向けることはできないと頭を北に涅槃に入りましたが、これが「北枕」の由来になりました。



5世紀に造られたといわれる涅槃像

ツアープランナーより

仏教の開祖である釈尊はネパール領のルンビニで生まれた後、故郷を離れ、やがて悟りを開くと、布教のために各地を旅しました。北インドには、その足跡が仏跡として刻まれています。ツアーでは行程を工夫し、一筆書きのルートでこれら8大仏跡を巡っていきます。一般的な観光ルートではありませんが、釈尊が実際に歩き、目にしたかもしれない片田舎をバスで走り、生きた釈尊の存在感を感じながらその生涯を追っていく旅情あふれるツアーです。同地はいずれも7世紀に玄奘三蔵が仏法を求め、シルクロードを経由して訪ねた場所でもあり、当時の様子を『大唐西域記』に記しています。釈尊そして玄奘の跡を追う、歴史ロマンあふれる16日間の旅へご一緒に出かけませんか。

聖地ベナレスに連泊ガンジス川の沐浴や夜のお祈りをご覧ください



ガンジス川の風景（イメージ）
川に至る階段状のガートがいくつも築かれています

【⑤最後の旅の地】ヴァイシャリ

悟りを開き仏陀となった釈尊は、その後45年にわたる遊説の際、何度もヴァイシャリを訪ねました。そして、死期を悟った釈尊はヴァイシャリ近郊で最後の雨安居を過ごし、クシナガルへ向かう「最後の旅」を始めます。釈尊に関わり深い聖地として、入滅より100年後には釈尊の教えを後世に残すための「仏典結集」がおこなわれ、現在も当時の史跡を求めて巡礼

者が訪れます。



「仏典結集」を記念して建てられたアショカの石柱とストゥーパ

【⑥布教の地】ラージギル

釈尊の時代、古代マガダ国の首都はラージギルでした。釈尊が最も長く滞在し説法をした聖地として、ピンピサーラ王が寄進した世界初の僧院「竹林精舎」、『法華経』が説かれた「霊鷲山」など、仏教史上重要な史跡が点在しています。霊鷲山には、釈尊が

瞑想した場所に花々が手向けられ、神聖な空気が漂います。



霊鷲山中腹に残る、釈尊が瞑想した場所

【⑦悟りの地】ブッダガヤ

ガンジス川の支流、ナイルンジャンナー川のほとりにあるブッダガヤでのこと、6年の苦行を経ても悟りを開けなかった釈尊は、極端なことを捨てて中道を行くことを選びました。そして菩提樹の下で瞑想し、ついに仏陀（覚者）となりました。その場所に建つ、大菩提寺（マハーボディ寺院）には世界中から巡礼者がやってきます。



釈尊が悟りを開いた跡に築かれたマハーボディ寺院

【⑧初転法輪の地】サールナート

ブッダガヤで悟りを得た釈尊と一緒に苦行を行った修行者に、初めて説法を行ったのが、サールナート。ガンジス川の大聖地ベナレスの郊外に位置し、当時鹿が住んでいたことから鹿野苑とも。仏教を篤く奉じたアショカ王が築いたとされる、高さ42メートルの仏舎利を納めたダメーク・ストゥーパがそびえています。



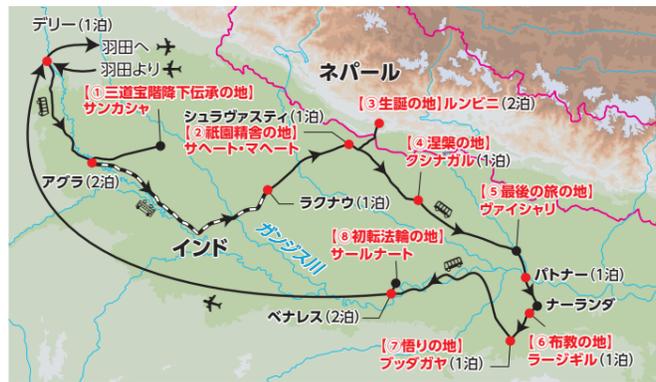
アショカ王が建造したサールナートのダメーク・ストゥーパ（イメージ）

玄奘三蔵も訪ねた世界遺産ナーランダ僧院跡も訪ねます

釈尊がマンゴーの木の下で説法をしたのが始まりで、5世紀には世界最古の大学のひとつとして仏教を学ぶ重要な場所となりました。7世紀には唐の玄奘三蔵が訪ねたことでも知られています。11の僧院跡、14の寺院跡が今も残されています。



ナーランダ僧院跡



利用予定航空会社：エア・インディア、日本航空
ツアーコード：IN186T

集合・日数・出発日	旅行代金	
【羽田空港集合・16日間】 2026年 2月17日(火)	エコノミークラス利用 ¥698,000	ビジネスクラス利用 お問い合わせください
(お1人でご参加のお客様は、1名室利用追加料金¥150,000にて承ります)		
ビジネスクラス利用区間：日本発着の国際線区間におのみ適用（羽田空港～デリー空港間往復）		
燃油サーチャージ別途目安：¥37,000 / 6月1日現在		
地方発着追加代金	大阪・名古屋～東京 片道 …… ¥5,000 福岡・札幌～東京 片道 …… ¥10,000	包付機内食がご迷惑です 各空管へお問い合わせください

日	訪問地	スケジュール	宿泊地・食事
1	羽田空港11:50発 デリー17:25着	羽田空港より、航空機にてデリーへ。	(デリー泊) □機□
2	デリー09:00発 アグラ15:00着	午前、バスにてアグラへ。途中、●マトゥラー考古学博物館を訪れます。午後、●タージ・マハルにご案内します。 【2連泊】(アグラ泊) 朝食夕	
3	アグラ(サンカシャ)	午前、サンカシャへ。【①三道宝階降下伝承の地】サンカシャの観光。○アショカ王柱やストゥーパを見学。 (アグラ泊) 朝食夕	
4	アグラ08:47発 ラクナウ12:55着	午前、列車にてラクナウへ。(注)着後、●アンベードカル記念公園、○ルミ・ダルワザ、ラクナウ名産のチカン刺繍の工房を訪れます。 (ラクナウ泊) 朝食夕	
5	ラクナウ09:00発 シュラヴァスティ13:00着	午前、ラクナウよりシュラヴァスティへ。午後、シュラヴァスティの観光。【②祇園精舎の地】サハート・マヘートを見学。 (シュラヴァスティ泊) 朝食夕	
6	シュラヴァスティ09:00発 ルンビニ17:00着	終日、ルンビニへ。途中、カピラヴァストゥ城跡(インド説)のピバラハワに立ち寄り。その後、国境を越えネパールのルンビニへ。 【2連泊】(ルンビニ泊) 朝食夕	
7	ルンビニ	終日、【③生誕の地】ルンビニの観光。○アショカ王柱、●マヤ・デヴィ寺院、カピラヴァストゥ城跡(ネパール説)のティラウラコットにご案内します。 (ルンビニ泊) 朝食夕	
8	ルンビニ09:00発 クシナガル15:00着	午前、再び国境を越え、クシナガルへ。午後、【④涅槃の地】クシナガルの観光。●大涅槃寺(ニルヴァーナ寺院)、○ラマパール・ストゥーパにご案内します。 (クシナガル泊) 朝食夕	
9	クシナガル09:00発 ヴァイシャリ パトナー 18:00着	午前、ヴァイシャリへ。途中、世界最大と言われる○ケサリア・ストゥーパにご案内します。その後、【⑤最後の旅の地】ヴァイシャリの観光。○アショカ石柱や○アーナンダ・ストゥーパの見学。その後、パトナーへ。 【2連泊】(パトナー泊) 朝食夕	
10	パトナー	午前、●ビハール博物館にご案内します。その後、古都パタリプトラの遺跡が残るグムハールを訪れます。 (パトナー泊) 朝食夕	
11	パトナー09:00発 ナーランダ	午前、パトナーよりナーランダへ。○ナーランダ・マハーヴィハール考古遺跡の●大書跡の見学。その後、ラージギルへ。 【⑥布教の地】ラージギルの観光。●霊鷲山、●竹林精舎を見学。 (ラージギル泊) 朝食夕	
12	ラージギル09:00発 ブッダガヤ12:00着	午前、ラージギルよりブッダガヤへ。【⑦悟りの地】ブッダガヤの見学。●大菩提寺(マハーボディ寺院)、○菩提樹、○スジャータの村にご案内します。 (ブッダガヤ泊) 朝食夕	
13	ブッダガヤ08:00発 ベナレス18:00着	午前、バスにてベナレスへ(この日は、終日バス移動となります)。ベナレス着後、ホテルへ。 【2連泊】(ベナレス泊) 朝食夕	
14	ベナレス(サールナート)	早朝、ガンジス川の沐浴の様子をボートからご覧ください。【⑧初転法輪の地】サールナートの観光。鹿野苑の○ダメーク・ストゥーパ、●初転法輪寺にご案内します。夜、ガンジス川の祈りの儀式・アールティにご案内します。 (ベナレス泊) 朝食夕	
15	ベナレス12:50発 デリー14:30着 デリー20:20発 羽田空港07:55着	午前、ベナレス空港へ。午後、航空機にてデリーへ。着後、航空機を乗り換え、帰国の途へ。 (機中泊) 朝国機	
16	羽田空港07:55着	午前、羽田空港に到着後、解散。 機□□	

※日程表の時刻は、エア・インディアの羽田空港発着の便を想定したものです。他の便、または他航空会社の便を利用の場合には、発着空港および時刻、日程は異なります。(注)列車の発着時刻は変更になる場合がございます。

ご旅行条件とご注意

■最少催行人員：10名様 ■食事：朝食14回、昼食14回、夕食13回 ■添乗員：羽田空港ご出発時から羽田空港ご到着時まで同行いたします ■バスポート必要残存有効期間：帰国時6か月以上 ■バスポート査証未使用欄：4ページ以上必要 ■査証代費：インド1,640円、ネパール5,000円(2025年6月現在) ■査証取得手数料：13,200円(税込) ■査証写真：計2枚。うち1枚はインド査証取得用として(縦5cm×横5cm。裏にサインはしないこと。カラー写真、背景は白色。顔の縦(頭からあごまで)サイズが2.5cm～3.5cm。目の位置から写真の底面までは2.9cm～3.5cm。正面向き。顔や背景に影の無いもの。スナップ写真およびデジタル加工されたものは不可。3か月以内に撮影されたもの。肩のライン(肩から上)がはっきりしたもの。もう1枚は、ネパール査証取得用として(縦4.5cm×横3.5cm。カラー写真、背景は白色。スナップ写真およびデジタル加工されたものは不可。6か月以内に撮影されたもの)。■バスポートの本体をお預かりします。

※陸路でのインドの出入国を伴う行程(ネパールへ出国、およびネパールからの入国)のため、大使館または領事館取得の紙査証(ビザ)の取得が必要です。有効期限内の「インドe-visa」をお持ちのお客様も当ツアー参加にあたっては、新たな査証取得が必要ですので、ご注意ください。

ご宿泊ホテル

- デリー：ラディソン・プリュ・ホテル・ニューデリー・ドワルカ
- アグラ：グランド・メルキュール・アグラ
- ラクナウ：クラーフ・アワード
- シュラヴァスティ：ロータス・ニコール・ホテル
- ルンビニ：ルンビニ法華ホテル
- クシナガル：ザ・ロイヤル・レジデンス・クシナガル
- パトナー：ザ・パナシェ
- ラージギル：インド法華ホテル・ラージギル
- ブッダガヤ：ザ・ロイヤル・レジデンス・ブッダガヤ
- ベナレス：ラディソン・ホテル・パラナシ ※新市街に位置する、設備の整ったホテルです。

※ルンビニのホテル以外は、シャワーのみの客室となります。※いずれのホテルも、2名1室利用の場合ハリウッド・ツインタイプのベッドとなります。

燃油サーチャージ込み もうひとつの「ゴールデン・トライアングル」を訪ねる

東インド コルカタとオリッサ紀行

8日間



太陽寺院。基壇の両側面に12ずつ、合計24個付けられた車輪。日時計になっていて時間を知ることができます

ここに注目。旅のポイント

目を見張る彫刻群 13世紀に築かれた世界遺産コナーラクの太陽寺院を訪ねます

タージ・マハルの翌年、1984年に世界遺産に登録された太陽寺院。東ガンガ王朝の下で20年もの月日をかけて築かれた壮大・壮麗なもので、オリッサ建築の白眉と称されます。寺院全体が7頭の馬と24の車輪で作られた馬車に曳かれるようにデザイン

され、伝統舞踊「オリッシィダンス」のポーズをとった踊り子たちの躍動感あるレリーフが施されています。とりわけ3メートルに及ぶ車輪の彫刻は見事。太陽神スーリヤを運ぶ馬車そのものを表現した北方オリッサ様式寺院建築の最高傑作のひとつです。



太陽(スーリヤ)寺院 馬にひかれて天を駆けぬげる馬車を模しています

オリッサ建築の最高傑作、11世紀建立のリンガラージャ寺院を展望します

オリッサの州都ブバネーシュワルは、紀元前に遡るカリンガ国の都で、500を数える寺院の存在が往時の繁栄を伝えています。いくつもの寺院が乱立する寺町ですが、中でもランドマークはリンガ・ラージャ寺院。オリッサ建築の最高傑作とされ、

コナーラクの太陽寺院、プリーのジャガンナート寺院は、同寺院の建築様式を受け継いで誕生しました。内部に入れるのはヒンドゥー教徒のみですが、展望ポイントから眺める中心寺院のシカラ(高塔)の眺望だけでもその偉容が味わえます。



シカラがそびえるリンガラージャ寺院 本殿は約45メートルもの高さを誇ります

ツアープランナーより

インド東部、ベンガル湾に面したオリッサ(現オディシャ)。紀元前に栄えた仏教、ジャイナ教王朝の史跡から、中世に台頭した王朝によるヒンドゥー教寺院まで、歴史遺産があちこちに見られます。インドを起源とする様々な宗教の圧巻の建築群は、オリッサ独特の発展を遂げて「オリッサ様式」として大成しました。見どころは、東海岸の三都市で形成される「オリッサのゴールデン・トライアングル」。観光地というより神聖な地として、インド各地から巡礼者が訪れ熱心に信仰する姿は、なんとも厳かです。空路はマレーシア航空を利用し、英領期首都カルカッタ(現コルカタ)から旅をスタート。ベンガル湾に近いコルカタも「ベンガルの文化」が花開いた地。奥深いインドの文化を訪ね、ベンガルの大地へぜひお出かけください。



太陽寺院

12世紀建造の東インド最大のヒンドゥー教寺院 ジャガンナートを訪ねます

ベンガル湾に面したプリーはリゾートとしても人気ですが、ヒンドゥー教徒にとっては聖地です。ここには東インド最大の寺院、ジャガンナート寺院がそびえています。本尊のジャガンナートとはヒンドゥー教のヴィシュヌ神の化身、ク

リシュナと見なされているオリッサの土着神であり、地元愛と結びつき熱狂的に信仰されています。入場できるのは、ヒンドゥー教徒のみ。寺院の周辺ではヒンドゥー教の人々が熱心に祈る姿が見られ、圧倒されることでしょう。



ジャガンナート寺院(異教徒は入場禁止のため外観のみ)



ジャガンナートはお土産にもなっています(イメージ)

ツアーの見どころ

紀元前1世紀に遡るジャイナ教寺院群 ウダヤギリ・カンダギリ

アショカ王時代、カリンガ国を領有したマウリヤ朝ですが、力が弱まると、ジャイナ教を信仰する王が誕生しました。ジャイナ教徒が瞑想する場所として開窟した石窟寺院が今も残されています。



ウダヤギリ石窟

インド4大舞踊のひとつ「動く彫刻」オリッシィダンス

オリッシィダンスは、ジャガンナートに捧げられた踊り。コナーラクの太陽寺院などを訪問した後にご覧いただくとその踊りが彫刻に描かれたものと同じなのがおわかりいただけることでしょう。また、オリッサ州滞在中には、小さな村

を訪問して、もうひとつのオリッサの伝統である細密画パッタチトラの作品で知られる小村も訪ねます。布(パッタ)に描かれた絵画(チトラ)を意味し、細やかな絵画作品のほか、素朴な村の壁画も鮮やかな装飾で飾られています。



オリッシィダンス(イメージ)



プリー近郊の小さな村を訪ねます(添乗員撮影)



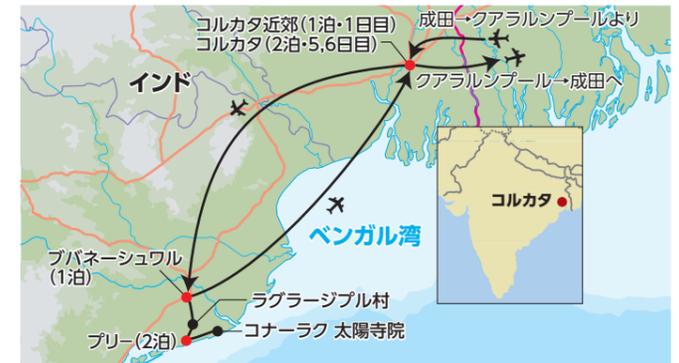
細密画パッタチトラ(イメージ)

締めくくりはコルカタ周辺の見どころを探访

インドらしい喧嘩が感じられる旧市街のカーリー寺院や郊外のジャイナ教寺院パレシュナートのほか、屈指の仏教コレクションを誇るインド博物館を訪問。インド最古のメトロ乗車も体験します。



インド博物館



利用予定航空会社：マレーシア航空 ツアーコード：IN108T

集合・日数・出発日	旅行代金	
【成田空港集合・8日間】 2026年 2月8日(日), 3月15日(日)	エコノミークラス利用 ¥475,000	ビジネスクラス利用 ¥775,000

(お1人でご参加のお客様は、1名室利用追加代金¥110,000にて承ります)

ビジネスクラス利用区分：成田空港〜クアラルンプール〜コルカタ間往復に適用

燃油サーチャージは旅行代金に含まれております。

地方発着追加代金	大阪・名古屋〜東京 片道 …… ¥5,000 福岡・札幌〜東京 片道 …… ¥10,000	個人無条件でご希望の各支店へのお問い合わせください。
----------	--	----------------------------

日	訪問地	スケジュール	宿泊地・食事
1	成田空港10:05発 → クアラルンプール17:00着 クアラルンプール21:35発 → コルカタ23:10着	午前、成田空港より航空機にてクアラルンプールへ。着後、航空機を乗り換え、コルカタへ。夜、空港近郊のホテルにチェックイン。	(コルカタ空港近郊泊) <input type="checkbox"/> 機内
2	コルカタ12:00発 → ブバネーシュワル13:00着 プリー 18:30着	午後、国内線にてブバネーシュワルへ。(注1) 着後、オリッサ州のリゾート地プリーへ。途中、 ウダヤギリ石窟 、 カンダギリ石窟 遺跡を見学します。夕刻、ホテルにチェックイン。	【2連泊】(プリー泊) 朝昼夕
3	プリー 〓 (コナーラク)	午前、プリーより コナーラク へ。圧巻の 太陽寺院 を見学。午後、プリーに戻り、旧市街にそびえる ジャガンナート寺院 を訪ねます(注2)。	(プリー泊) 朝昼夕
4	プリー 08:00発 〓 (ラグラージプル村) ブバネーシュワル13:00着	午前、州都 ブバネーシュワル へ。途中、 ラグラージプル村 を散策。オリッサに伝わるパッタチトラという細やかな絵画の工芸で知られる村です。ブバネーシュワル着後、昼食と市内観光。 州立民族博物館 などを見学します。夜、 オリッサの民族舞踊 を鑑賞。(ブバネーシュワル泊)	朝昼夕
5	ブバネーシュワル14:30発 → コルカタ15:40着	午前、 リンガ・ラージャ寺院 (注2)、 ラージャ・ラーニー寺院 を見学。その後、空港へ。午後、国内線にて、コルカタへ戻ります。(注1) 着後、ホテルにチェックイン。	【2連泊】(コルカタ泊) 朝国夕
6	コルカタ	終日、 コルカタの市内観光 へ。午前、コルカタ旧市街へ。 インド最古のメトロ乗車体験 、 カーリー寺院 、 ビクトリア記念堂 などを見学。昼食は、 ベンガル料理の名店「アーヘリ」 でシーフード料理をお召し上がりください。	(コルカタ泊) 朝昼夕
7	コルカタ	午前、出発までゆっくりとお過ごしください。午後、インド最大の インド博物館 を訪ね、有名なパールフットの欄干など古代仏教の傑作をご覧ください。その後、ジャイナ教寺院 パレシュナート寺院 を訪ねます。	(機中泊) 朝昼夕
8	コルカタ00:10発 → クアラルンプール06:45着 クアラルンプール09:40発 → 成田空港17:30着	深夜、航空機にてクアラルンプールへ。着後、航空機を乗り換え、帰国の途へ。夕刻、成田空港に到着後、解散	機内 <input type="checkbox"/>

(注1)インド国内線の受託手荷物の重量制限は15kgまでとなります。また、時刻は変更となる場合がございます。

(注2)ヒンドゥー寺院は、ヒンドゥー教徒以外の入場ができないため、外観からの眺望のみとなります。

ご旅行条件とご注意

- 最少催行人員：10名様 ■食事：朝食6回、昼食6回、夕食6回 ■添乗員：成田空港ご出発時から成田空港ご到着時まで同行します。 ■パスポート必要残存有効期間：帰国時6か月以上 ■パスポート査証未使用欄：2ページ以上必要 ■査証代実費：3,900円(2025年4月現在) ■査証取得手数料：6,600円(税込)
- 査証用写真：1枚(縦5cm×横5cm。カラー写真、背景は白色。顔の縦(頭からあごまで)サイズが2.5cm〜3.5cm。目の位置から写真の底面までは2.9cm〜3.5cm。正面向き、顔や背景に影の無いもの。スナップ写真およびデジタル加工されたものは不可。3か月以内に撮影されたもの。肩のライン(肩から上)がはっきりしたものの。 ■パスポートのカラーコピーをお預かりします。

ご宿泊ホテル

- コルカタ空港近郊(1日目)：サローヴァル・ポーター・コルカタ・ラジャール・ハット
- プリー：メイフェア・ヘリテージ・プリー
- ブバネーシュワル：ヴィヴァンタ・ブバネーシュワル
- コルカタ(5日目,6日目)：ハイアット・リージェンシー・コルカタ

※いずれのホテルもシャワーのみの客室となります。
※プリーのホテル(2日目〜3日目)は、2名様利用の場合の客室のベッドタイプはハリウッド・ツインタイプとなります。ご了承ください。

新企画 知られざる桃源郷アッサムをゆく 世界遺産カジランガ国立公園と ブラマプトラ川の船旅 10日間



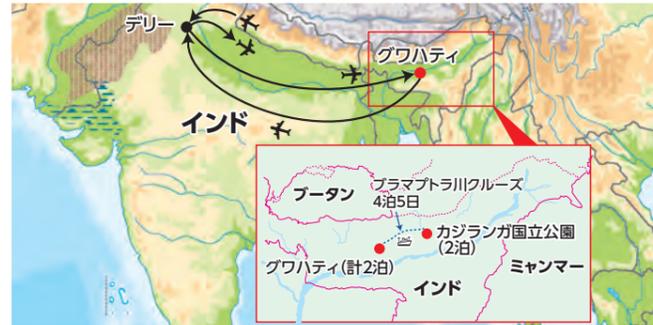
カジランガ国立公園でのエレファントサファリ (視察時撮影)

ツアープランナーより

未だ観光化が進んでおらず、素顔のインドがご覧いただけるインド北東部。その中心を流れるのがブラマプトラ川です。チベット、ラサ郊外を流れるヤルツァンポ川がヒマラヤを越えてインドへと流れ、最終的にはガンジス川と一体となってベンガル湾へと注ぐインドの大河を、快適なクルーズ船で巡る夢の企画がついに実現しました。アッサムの州都グワハティから、4泊5日のクルーズで目指すは世界遺産カジランガ国立公園。「インドサイ最後の聖地」と言われるカジランガ国立公園は野生のインドサイが悠々と暮らす姿をご覧いただける唯一無二の訪問地です。カジランガ国立公園には2泊し、インドサイを間近にご覧いただけるエレファントサファリにもご案内(注2)。ブラマプトラ川流域の素朴な村々や紅茶畑、そして動物たちが暮らす大自然、アッサムの魅力を余すことなくご案内する旅といたしました。



河畔の村の小学校も訪ねます (視察時撮影)



スカファー号で素朴で魅力的な訪問地へ

スカファー号で訪れるブラマプトラ川流域は殆ど観光化されていない素朴な地域ばかり。素顔のインドをご覧いただける魅力的な訪問地です。最初に訪れるスワルクチは絹の生産で知られる村。アッサムは野蚕産卵の場所でもあり、エリ蚕やムガ蚕という独特の野蚕が飼育されています。その蚕からとれるエリシルクやムガシルクは「ワイ

ルドシルク」として世界中で珍重されています。村では養蚕から絹織物ができるまでの行程をご覧いただくことができます。翌日は北東インドのヒンドゥー聖地、カマキヤ寺院へ。信仰に生きる北東インドの人々の熱気を感じる観光です。さらには素朴な河畔の村へ。学校や民家を訪問し、等身大のインドの暮らしに触れることができます。



村の学校の朝礼の様子 (視察時撮影)



絹の生産が盛んなスワルクチ村(イメージ)

チベットからベンガル湾へ注ぐ未知なる大河 ブラマプトラ川をゆく

チベットからベンガル湾へと注ぐブラマプトラ。大部分をヒマラヤの急峻な大渓谷を流れるため、21世紀に入ってもその全容は明らかになっておらず、ヒマラヤの空白地帯として多くの冒険家を魅了してきました。そんな未知なる川ブラマプトラの中流域は、アッサム渓谷を悠々と流れる大河へと姿を変えます。そんな大河を舞台に魅力あるツアーを作りたいと、クルーズ船で沿岸の魅力を伝えているのが、アッサム・ベンガル・ナビゲーションというクルーズ会社です。かつてガンジス川をクルーズする旅を共に実施した縁から、今回同社の船「スカファー号」を利用し、ブラマプトラ流域の魅力に迫る4泊5日のツアーをご用意することができました。インドのなかでも僻地にあたる地域ですが、「スカファー号」は欧米の旅行者を意識した上質なサービスが提供され、ストレスなく旅を楽しむことができます。



客室は窓を大きくとったフレンチバルコニー。客室でも景色を楽しめます



スタッフのホスピタリティもハイレベル。夕食は洋食コースも選べます



SHIP DATA
 ■ 就航: 2006年 ■ 全長: 38m ■ 乗客定員: 24名 ■ メインデッキ: ダイニングルーム、スパ
 ■ アッパーデッキ: 客室12室、ミーティングサロン、図書室
 ■ 客室: 全室フレンチバルコニー、トイレ、シャワー付き ■ サンドデッキ: パノラマビューデッキ

ツアーを彩る様々な船内プログラム

様々な船内プログラムでクルーズを盛り上げてくれるスカファー号。アッサム伝統舞踊の見学や、民族衣装着付け体験、シェフによるインド料理体験、アッサム文化講座など、船専属のガイドやスタッフ、シェフが総出で行うプログラムはアッサムへの理解をより豊かなものにしてくれます。食事も欧米旅行者向けに工夫されており、ランチはbuffetスタイルですが、ディナーはインド料理と洋食のコースを選べるようになっています。どちらも質の高い料理ですので、その日の気分に

合わせてお楽しみいただけます。食事もダイニングルームだけでなく、時にはアッパーデッキで、時には中州でのパーベキューディナーなど、4泊のクルーズでも味、雰囲気共に飽きさせません。



船内でのアッサム民族舞踊の様子 (視察時撮影)

象の背中から間近にインドサイに迫る特別な時間

絶滅が危惧されているインドサイの、なんと世界の4分の3以上の約1900頭が生息するという、独特の環境を持つカジランガ国立公園。今回は連泊することで東部、中部、西部と3つのサファリゾーンにご案内します。さらに早朝にはユニークな方

法で自然とふれ合います。それが、ゾウの背中に乗って園内を回る、「エレファントサファリ」です(注2)。同じ動物のゾウで近づくことで、間近でご覧いただけるチャンスが上がります。早朝のみの特別なサファリは、予備日を設けてご案内いたします。



インドサイの様子を間近にご覧いただけるチャンスも(イメージ)



エレファントサファリは3名乗り(イメージ)

利用予定航空会社: エアインディア、日本航空		ツアーコード: IN055T	
集合・日数・出発日		旅行代金	
【羽田空港集合・10日間】 2025年12月3日(水) 2026年1月14日(水), 2月25日(水)		エコノミークラス利用 ¥798,000	ビジネスクラス利用 お問い合わせください
(お1人でご参加のお客様は、1名室利用追加代金¥260,000にて承ります)			
ビジネスクラス利用区間: 羽田空港~デリー間往復のみ適用			
燃油サーチャージ別途目安: ¥19,000 / 5月1日現在			

地方発着追加代金	大阪・名古屋~東京 片道 …… ¥5,000 福岡・札幌~東京 片道 …… ¥10,000	包付条件がございますので各支店へお問い合わせください。
----------	--	-----------------------------

日	訪問地	スケジュール	宿泊地・食事
1	羽田空港11:50発 → デリー 17:25着 デリー 20:50発 → グワハティ 23:35着	午前、羽田空港より航空機にてデリーへ。 着後、航空機を乗り換えアッサム州のグワハティへ。 (グワハティ泊) □機機	
2	グワハティ ⇄ (スワルクチ村)	午前、出発までゆっくりお過ごしください。ホテルより、グワハティのバンドゥ港へ。スカファー号に乗船します。乗船後、船内でランチ。船は下流のスワルクチへ向けてクルーズ。午後、絹織物の町スワルクチへ。○絹織物工房を訪ねます。 【4連泊】(スカファー号泊) 朝昼夕	
3	グワハティ近郊 ⇄ (カマキヤ寺院)	午前、グワハティ郊外のニラーチャルヒルへ。北東インド屈指のヒンドゥー教寺院●カマキヤ寺院を見学します。午後、マヨン方面へとクルーズします。船内プログラムをお楽しみください。 (スカファー号泊) 朝昼夕	
4	マヨン近郊 ⇄	午前、マヨン近郊の川沿いの村の散策にご案内します。ブラマプトラの河畔に暮らす人々の生活をご覧いただけます。午後はシルガット方面へとクルーズします。インド料理のデモンストレーションなど船内プログラムをお楽しみください。 (スカファー号泊) 朝昼夕	
5	シルガット近郊 ⇄ カジランガ国立公園 (西部地区ジープサファリ)	午前、シルガットへとクルーズします。午後、西カジランガ国立公園へ。西部地区のジープサファリにご案内します。(注1) 夕刻、船に戻ります。 (スカファー号泊) 朝昼夕	
6	スカファー号 ⇄ カジランガ国立公園 (東部地区ジープサファリ)	午前、4泊したスカファー号に別れを告げ、カジランガ国立公園へ。観光客の少ない東部地区のジープサファリにご案内いたします。(注1) 夕刻、カジランガ国立公園の中央に位置するホテルへ。 【2連泊】(カジランガ国立公園泊) 朝昼夕	
7	カジランガ国立公園 ⇄ (エレファントサファリ) (中部地区ジープサファリ)	早朝、カジランガ国立公園中部にてエレファントサファリにご案内します。(注2) ホテルに戻り朝食後、午前はおゆっくりお過ごしください。夕刻、中部地区のジープサファリにご案内します。(注1) (カジランガ国立公園泊) 朝□夕	
8	カジランガ国立公園 ⇄ グワハティ	午前、ホテルをゆっくり出発し、グワハティへ。(エレファントサファリの予備日です) 途中、アッサム紅茶農園に立ち寄り。夕刻、グワハティ着。 (グワハティ泊) 朝昼夕	
9	グワハティ 15:40発 → デリー 18:25着 デリー 20:20発 →	午前、●ブラマプトラリバーヘリテージ、○パザールにご案内します。午後、国内線にてデリーへ。デリーにて航空機を乗り換え、帰国の途へ。(機中泊) 朝昼機	
10	羽田空港07:55着	午前、羽田空港に到着。着後、解散。 機□□	

※日程表の時刻は、羽田空港発着のエアインディアの利用を想定したものです。他の航空会社を利用の場合には、発着空港および時刻、日程は異なります。

※ブラマプトラ川の水量や現地の状況により、クルーズ中の下船地や発着時間は変更となる場合がございます。

(注1) カジランガ国立公園のジープサファリは西部、中部、東部にそれぞれサファリエリアがございます。連泊でそれぞれのサファリエリアを巡る行程としておりますが、動物の状況や路面状況等により、エリアを変更してご案内する場合もございます。予めご了承ください。

(注2) エレファントサファリの予約はゾウの保護のためアッサム州が管理しており、催行前日までに予約の可否が決定いたします。また、荒天や公園内のサファリルートの路面状況等により中止となる場合もございます。予備日を設けておりますが、予約が取れない場合、また中止となった場合はジープサファリにご案内いたします。予めご了承ください。

ご旅行条件とご注意

■ 最少催行人員: 10名様 ■ 食事: 朝食8回、昼食7回、夕食7回 ■ 添乗員: 羽田空港ご出発時から羽田空港ご到着時まで同行します。 ■ バスポート必要残存期間: 入国時6か月以上 ■ バスポート査証未使用欄: 2ページ以上 ■ 査証代金: 3,900円(2025年5月現在) ■ 査証取得手数料: 6,600円(税込)
 ■ 査証用写真: 査証用写真:1枚(縦5cm×横5cm。カラー写真、背景は白色。顔の縦(頭からあごまで)サイズが2.5~3.5cm。目の位置から写真の底面までは2.9~3.5cm。正面向き、顔や背景に影の無いもの。スナップ写真およびデジタル加工されたものは不可。3か月以内に撮影されたもの。肩のライン(肩から上)がはっきりしたもの。 ■ バスポートのカラーコピーをお預かりします。

ご宿泊ホテル

- グワハティ: ヴィヴァンタ・グワハティ
- ブラマプトラ川クルーズ: スカファー号
- カジランガ国立公園: ポーゴス・リゾート

※いずれもシャワーのみの客室となります。

※バス付き客室をご用意するよう努めておりますが、各地域の特性や施設の事情及び昨今の世界的な「シャワーのみの客室」増加により、シャワーのみの客室となる場合がございます。